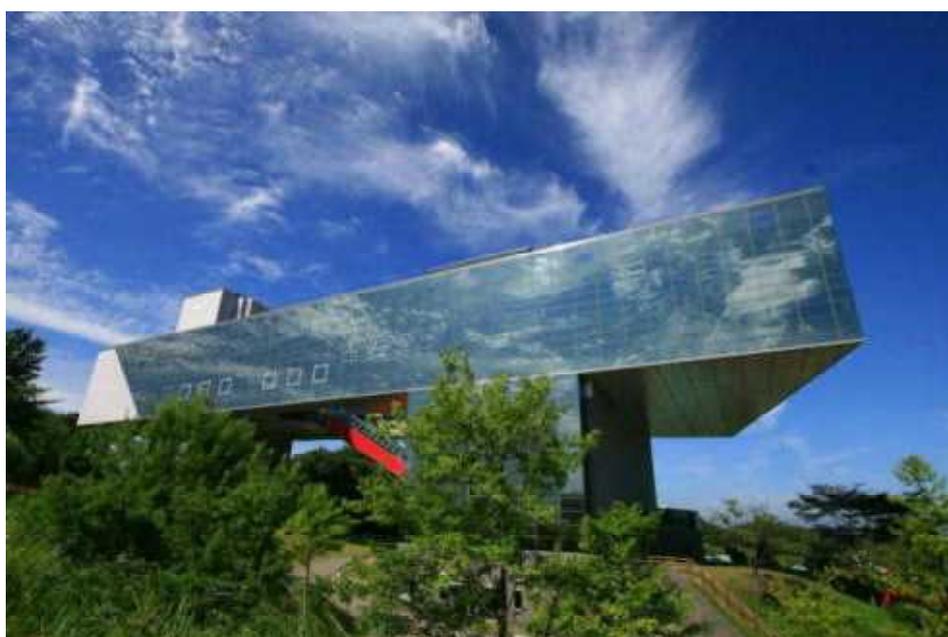


2023(令和5)年度
秋田県立近代美術館年報
Akita Museum of Modern Art Annual Report, 2023





秋田県立近代美術館 外観

目次

沿革	2
美術館の事業紹介	3
2023(令和5)年度事業一覧	5
展示事業	7
i 特別展 縄文 小川忠博写真展	13
ii 特別展 皇室の名宝と秋田～三の丸尚蔵館 収蔵品展～	16
iii 特別展 奇想天外×大胆不敵 浮世絵師 歌川国芳展	21
iv 特別展 からだじゅうであじわう 大根ビネーション展	23
v 企画展 アキタの書・その魅力	26
i コレクション展 第I期 樹を描く 木で創る	27
ii コレクション展 第II期 キンビ・版画セレクション	29
iii コレクション展 第III期 遊び戯る 美	30
iv コレクション展 第IV期 雪月花のとき	
教育普及事業	
キンビ・創作体験プログラム	31
ミュージアムコンサート	34
美術館講座・美術講演	35
出前美術館・出前美術展	36
ネットワーク推進事業	37
ふれんどりーギャラリー	38
美術館のセカンドスクールの利用	40
博物館実習	41
職場体験、インターンシップ、研修	42
美術館ボランティアAMC（アムック）	43
収集事業	
美術品収集	44
図書資料	45
美術品の貸出	45
美術品保存	
美術品保存・修復	46
重要文化財等指定	46
燻蒸	46
調査・研究業績	47
刊行物	48
入館状況	49
組織	50
関係法規	51
館内図	53
建築・設備概要	55
利用・交通案内	56

沿革

1988(昭和63)年	11月	秋田ふるさと村(仮称)建設基本構想策定
1989(平成元年)	5月	秋田郷土美術館(仮称)建設基本構想策定
	12月	秋田ふるさと村(仮称)建設基本計画策定
1990(平成2)年		文化課に新美術館建設準備担当設置
	6月	用地取得・造成工事着手
1991(平成3)年	6月	美術館建設工事着手
1993(平成5)年	6月	美術館建設工事完成
1994(平成6)年	4月20日	開館
1997(平成9)年	10月2日	天皇・皇后両陛下下行幸啓
1999(平成11)年	4月	秋田ふるさと村入村料無料化
2001(平成13)年	1月	展示室以外の館内無料化
	9月26日	入館者数1,000,000人を達成
2007(平成19)年	10月	入館者数1,500,000人を達成
2013(平成25)年	7月	入館者数2,000,000人を達成
2018(平成30)年	2月～3月	休館し、館内改修工事を実施
2018(平成30)年	4月	リニューアルオープン
	8月	入館者数2,500,000人を達成
2023(令和5)年	10月	公式ロゴマーク発表

美術館の事業紹介

◆ 展 示

特別展

美術館独自の企画、他美術館・諸団体との共催により、広く内外の美術を対象に特色あるテーマをもった展覧会を開催します。

企画展・コレクション展

当館所蔵作品を中心に、展示替えを行いながら、常時公開するものです。

Exhibition

Special Exhibition

Under a unique theme, native and foreign artwork are displayed in cooperation with other museums and organizations.

Permanent Exhibition

A portion of our collection is regularly displayed and each is rotated every few months.

◆ 収 集

近代以降の優れた美術作品を中心に、近・現代美術の思潮をたどるうえで必要な作品や資料を収集します。

- ①秋田蘭画・初期洋風画作品及び資料
- ②近代以降の本県出身及びゆかりの作家の作品や資料
- ③日本の美術思潮を学ぶことのできる作品や資料
- ④当館の収集作品としてふさわしい内外の美術作品や資料

Purchasing Activities

In order to follow the current trends in modern and present day thought in fine art, our collection of fine works concentrates mostly on the postmodern era as described below.

- ① The Akita School of Ranga paintings, early westernstyle paintings in Japan, and the materials associated with these works.
- ② The fine art work of modern artists who are closely connected to, or are from Akita Prefecture, and related materials.
- ③ Works which teach us about the current thought in Japanese fine art, and the materials associated with these works.
- ④ Other native and foreign works which are of great substance, and the materials associated with them.

◆ 保存管理

優れた美術作品の散逸・損傷・亡失を防ぎ、後世に伝えるため、調査研究を行い、良好な環境の中で保存します。

Preservation

We have preserved all of the fine works in the best condition possible in order to prevent them from being scattered, damaged or lost.

We wish to continually improve our research and hand down these collections to future generations.

◆ 調査研究

当館の各種事業の充実を図るため、その基礎となる次のような調査研究活動を行います。

- ① 収蔵品に関する調査研究
- ② 秋田県の近・現代美術に関する調査
- ③ 保存・管理、教育普及活動、展示活動、創作に関する調査研究
- ④ その他の調査

Research Activities

We are constantly researching in order to increase our knowledge and to improve the museum's collections.

- ① Permanent collection
- ② Modern and contemporary fine art from Akita Prefecture
- ③ Topics relating to the creation, exhibition and preservation of art, as well as the contribution of fine art to education
- ④ Other researches

◆ 広報出版

県民に親しまれる芸術文化活動の拠点として、種々の印刷物の刊行やマスメディアとの連携等により、美術館事業に関する情報を提供します。

Publicity Works Activities

As a center of art and cultural activity for People in Akita, we provide information about museum operations through pamphlets and the mass media.

◆ 教育普及

誰もが気軽に利用できる美術館を目指し、展示活動を始め講演会・美術館講座・実技講座等様々な事業を行います。また、美術館ボランティアAMC(アムック)との連携によって、さらに積極的な普及活動を行います。

Educational Activities

In cooperation with the museum volunteer group (AMC), we hold various lectures, seminars and workshops.



秋田県立近代美術館 地下1階エントランスホール

2023(令和5)年度事業一覽

月	5階展示室	6階展示室	△移動展等	◆企画展関連イベント等
2023				
4	4月22日(土)～6月30日(金) 特別展 縄文 小川忠博写真展 	4月12日(水)～7月9日(日) 2023コレクション展 第1期 樹を描く 木で創る 	縄文 小川忠博写真展 ◇ ギャラリーツアー 4月29日(土)、6月17日(土) 各日午後1時30分より ◇ ワークショップ「漆(ウルシ)で縄文(JOMON)」 5月20日(土)、5月21日(日) 午前10時～午後3時 講師：齋藤國男 氏(秋田県工芸家協会 会長)	
5				
6				
7	7月8日(土)～9月3日(日) 特別展 皇室の名宝と秋田 三の丸尚蔵館 収蔵品展 	7月12日(水)～10月9日(月・祝) 2023コレクション展 第2期 キンビ・版画セレクション 	皇室の名宝と秋田 ◇ 記念講演会 「三の丸尚蔵館の収蔵品と活動」 7月8日(土) 午後1時30分～午後3時 講師：清水緑 氏(三の丸尚蔵館 主任研究官) ◇ 記念講演会 「写真が語る皇室と秋田」 8月5日(土) 午後1時30分～午後3時 講師：木谷知香 氏(三の丸尚蔵館 研究官) ◇ ABSアナウンサーと担当学芸員によるギャラリートーク 7月23日(日)、8月13日(日) 午後2時～午後3時	
8				
9	9月9日(土)～11月5日(日) 特別展 浮世絵師 歌川国芳展 	10月12日(木)～1月9日(火) 2023コレクション展 第3期 遊び戯る 美 	浮世絵師 歌川国芳展 ◇ 講演会 「歌川国芳 西洋画から生まれた「特撮」」 9月24日(日) 午後1時30分～午後3時 講師：金子信久 氏(府中市美術館学芸員) ◇ 担当学芸員によるスライドトーク 9月16日(土)、10月15日(日) 午後2時～午後3時 ◇ 国芳が描いた「すごろく」で遊んでみよう！ 9月18日(月・祝)、10月9日(月・祝) 午前10時～午後4時	
10				
11	11月11日(土) ～1月28日(日) 特別展 大根ビネーション展 		大根ビネーション展 ◇ 劇団わらび座の表現ワークショップ ◇ 永沢碧衣さんとroot painting project ◇ キンビコミュニケーターワークショップ ◇ 本展作家とのおしゃべり鑑賞会 ◇ クリスマスカラーでつくってみよう ◇ うちのあかりワークショップ ◇ 雪のキャンパスお絵かきワークショップ ◇ 大根ビネーション展 大収穫祭	
12				
2023				
1	12/29(金)～1/2(火) 年末休館 大根ビネーション展 1/16(火)～25(木) メンテナンス休館 大根ビネーション展	遊び戯る 美 雪月花のとき		
2	2月3日(土)～4月14日(日) 企画展 アキタの書・その魅力 	1月12日(金)～4月7日(日) 2023コレクション展 第4期 雪月花のとき 	▲12月14日(木)～1月23日(火) ネットワーク事業 「中村征夫写真展 顔面博覧会」 会場：秋田県立図書館特別展示室 	
3				

◆2023年度 秋田県立近代美術館 美術館講座
 特任館長講座
 《江戸時代の美術と文化Ⅱー多彩な個性の開花》

5月13日(土) 詩情豊かな南画と俳画ー与謝蕪村
 6月10日(土) 長崎からの新たな花鳥画
 ー沈南蘋とその継承者
 7月29日(土) 重厚な花鳥画とユーモア
 ー伊藤若冲
 8月19日(土) 京都画壇の優しさー長沢芦雪ほか
 付 皇室の名宝と秋田展より
 9月23日(土) 奇想の絵師ー曾我蕭白ほか
 10月28日(土) 好事家たちの版画
 ー窪俊満と江戸の摺物
 付 歌川国芳展より
 11月25日(土) 折衷派と呼ばれた江戸の南画
 ー谷文晁・渡辺崋山
 12月 4日(土) 文人趣味と関西の南画
 ー浦上玉堂・田能村竹田ほか

講師：仲町啓子
 (秋田県立近代美術館特任館長・実践女子大学文学部名誉教授)
 会場：秋田県立近代美術館6階研修室



- 5月14日(日)
 みんなの教室「カラーインクをつかってみよう!!」
- ☆6月20日(火)~7月30日(日) ふれんどりーギャラリー
 草薮裕 氏 「草薮裕写真展 無数の一滴」
- 7月1日(土)・2日(日)
 美術館教室「写真教室 ライティング撮影・現像&プリントに挑戦!」
- 7月30日(日)
 みんなの教室「つくろう!ぶんぼうアニマルズ!3」
- 8月6日(日) きっずあーと「おさかなすいぞくかん」
- ◎8月20日(日) ミュージアムコンサート
 「前田英樹ピアノコンサート」
- ☆9月3日(日)~10月4日(日) ふれんどりーギャラリー
 大関智子 氏 「Visitor」
- 9月3日(日) きっずあーと「スタンプべったんアート」
- 9月30日(土)・10月1日(日)
 美術館教室「日本画教室 好きな果物を描こう!」
- ☆10月7日(土)~11月12日(日) ふれんどりーギャラリー
 伊藤由美子 氏 「伊藤由美子 版画展」
- 10月21日(土)・22日(日)
 美術館教室「版画教室2 エッチングで銅版画に挑戦!!」
- 12月3日(日) みんなの教室「羽子板に描こう!」



2023

4

5

6

7

8

9

10

11

12

2024

1

2

3

i. 特別展

縄文 小川忠博写真展

会 期 2023(令和5)年4月22日(土)～6月30日(金)【70日間】

主 催 縄文写真展実行委員会

(秋田県立近代美術館・AAB秋田朝日放送)

後 援 横手市、横手市教育委員会、秋田魁新報社、朝日新聞秋田総局、
毎日新聞秋田支局、読売新聞秋田支局、河北新報社、
産経新聞秋田支局、日本経済新聞社秋田支局、横手経済新聞、
ABS秋田放送、AKT秋田テレビ、岩手朝日テレビ、エフエム秋田、
横手かまくらFM、エフエムゆーとぴあ、FMはなび

担 当 鈴木京、秋田達也

写真家・小川忠博が撮影した、全国29都道府県出土の縄文遺物の写真等216点、秋田県内出土の実物10点を展示した。約40年の取材で撮影された作品には、一般に知られていない「隠れた名品」を被写体しているものも多かった。縄文造形の新鮮な世界を楽しめて、日本列島における約1万年という時間のなかに作り出された造形の豊かさや、人間に内在する想像力の大きさも感じられるような展覧会となった。アンケートには、実物観察とはまた異なる遺物鑑賞の魅力や、造形自体がもつ芸術性や迫力に対する驚きがつづられ好評だった。会期中は秋田県埋蔵文化財センターの方をお招きしたギャラリーツアー、漆を用いたワークショップなども行った。



No	資料名	サイズ(cm)	出土地	出土遺跡	所蔵機関	年代	指定
1	岩偶	6.9	秋田県	白坂遺跡	北秋田市教育委員会	晩期	秋田県指定
2	線刻礫	10	群馬県	矢瀬遺跡	みなかみ町教育委員会	—	
3	矢尻	1.5	長野県	出土地不明	上田市教育委員会	—	
4	丸木弓	86.3	新潟県	青田遺跡	新潟県埋蔵文化財センター	晩期終末	新潟県指定
5	狩猟文土器	全寸：26.2	青森県	葦窪遺跡	青森県立郷土館	後期	青森県指定
6	土偶	22	青森県	近野遺跡	青森県埋蔵文化財調査センター	後期	
7	クマ形土製品	14	青森県	尾上山遺跡	青森県立郷土館(風韻堂コレクション)	晩期	
8	イノシシ形土製品	16.1	千葉県	能満上小貝塚	市原市埋蔵文化財調査センター	晩期	千葉県指定
9	土製品	8.2	青森県	三内丸山(6)遺跡	青森県埋蔵文化財調査センター	後期	
10	イノシシ形土製品	3	秋田県	藤株遺跡	北秋田市教育委員会	後期～晩期	
11	クマ形土製品	16.3	岩手県	上杉沢遺跡	二戸市埋蔵文化財センター	晩期～弥生	岩手県指定
12	イヌ形土製品	7	栃木県	藤岡神社遺跡	栃木市	後期	重文
13	獣面のある土器	—	群馬県	中野谷松原遺跡	安中市	前期	
14	モリの頭(骨・角製)	—	岩手県	中沢浜貝塚	陸前高田市立博物館	—	
15	釣り針(骨・角製)	—	北海道	入江貝塚	洞爺湖町教育委員会	後期	北海道指定
16	サメ彫刻	0.5	北海道	有珠モシリ遺跡	文化庁(伊達市教育委員会保管)	晩期	重文
17	魚形土製品	9.8	長野県	雁石遺跡	上田市教育委員会	後期	上田市指定
18	シャチ形土製品	6.3	北海道	桔梗2遺跡	函館市教育委員会	中期	
19	浅鉢	44	神奈川県	恩名冲原遺跡	厚木市教育委員会	中期	厚木市指定
20	石錐と石匙	—	群馬県	安中市内の遺跡	安中市	前期・晩期	
21	石錐	—	群馬県	中野谷松原遺跡	安中市	前期	
22	石匙	—	群馬県	中野谷松原遺跡	安中市	前期	
23	石斧	—	群馬県	中野谷松原遺跡御	安中市	前期	

24	石斧と柱根	—	新潟県	井戸遺跡	新潟市文化財センター	晩期	
25	丸木舟	全長：約580 幅：約70	東京都	中里遺跡	北区飛鳥山博物館	中期	東京都指定
26	木製容器未製品	—	新潟県	御井戸遺跡	新潟市文化財センター	晩期	新潟市指定
27	漆塗木製容器	手前の器：15	新潟県	分谷地A遺跡	胎内市教育委員会	後期	新潟県指定
28	竪穴住居跡	—	山梨県	真原A遺跡	北杜市教育委員会	中期後半	
29	壺、鹿角ほか	—	栃木県	明神前遺跡	鹿沼市教育委員会	後期	
30	石皿・摺石、パン状炭化物	最大18×14	新潟県	岩野原遺跡	長岡市立科学博物館	中期	
31	捏ね棒と土器内炭化物	—	岩手県	貝畑貝塚	陸前高田市立博物館	—	
32	編み籠とクルミ殻	16	青森県	三内丸山遺跡	三内丸山遺跡センター	前期	重文
33	籠・クルミ	—	福島県	鷲内遺跡	南相馬市教育委員会	晩期	
34	子を抱く土偶	7.1	東京都	宮田遺跡	国立歴史民俗博物館	中期	
35	手形付土製品・足形 付土製品の集合写真	最大9	青森県	大石平遺跡	青森県立郷土館	後期	重文
36	土偶・耳飾・土版	—	群馬県	千網谷戸遺跡	桐生市	晩期	重文
37	玉類	玉部：3.8	青森県	上尾駸（1）遺跡	青森県埋蔵文化財調査センター	晩期	
38	土製耳飾	径9.4	群馬県	千網谷戸遺跡	桐生市	晩期	重文
39	ヒスイ製大珠	径6.2	青森県	三内丸山遺跡	三内丸山遺跡センター	中期	重文
40	異形石器	—	新潟県	元屋敷遺跡	村上市教育委員会	後期～晩期	重文
41	貝象嵌耳飾	2	千葉県	月ノ木貝塚	千葉市教育委員会	中期	
42	装身具（鹿の角）	—	佐賀県	東名貝塚	東名縄文館	早期	
43	球状耳飾	最大6.8	福井県	桑野遺跡	あわら市	早期末～前期前葉	重文
44	石製装身具	4.6	山梨県	青木遺跡	北杜市教育委員会	後期	
45	土製腕輪	最大5.5	岩手県	近内中村遺跡	宮古市教育委員会	晩期	
46	人面付突起	—	静岡県	桃園尾畑遺跡	個人	早期～中期	
47	土偶頭部	6.5	青森県	中居遺跡	八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館	晩期	重文
48	櫛	14.3	埼玉県	後谷遺跡	桶川市教育委員会	晩期	重文
49	土偶	12.5	富山県	長山遺跡	富山県埋蔵文化財センター	中期	
50	壺を持つ妊婦土偶（レプリカ）	—	長野県	目切遺跡	市立岡谷美術考古館	中期	実物は岡谷市指定
51	片口土器	—	千葉県	幸田貝塚	松戸市教育委員会	前期	重文
52	土器	48.3	長野県	塚田遺跡	御代田町浅間縄文ミュージアム	前期初頭	御代田町指定
53	深鉢（表面）	32	埼玉県	谷畑遺跡	埼玉県教育委員会	前期	
54	台付き鉢	19.2	埼玉県	長竹遺跡	埼玉県教育委員会	晩期	
55	漆塗り土器片	最大長9.4	東京都	下宅部遺跡	東村山市教育委員会	後期～晩期	手前 東村山市指定、他全て重文
56	把手付注口土器	22.3	茨城県	椎塚貝塚	公益財団法人 辰馬考古資料館	後期	重文
57	赤彩注口土器	31.2	北海道東	野田生1遺跡	八雲町教育委員会	後期	北海道指定
58	浅鉢形土器	25	京都	七社神社前遺跡御	北区飛鳥山博物館	前期	北区指定
59	浅鉢形土器	19.5	東京都長	嶽堂遺跡	町田市教育委員会	中期	
60	土器	26.9	長野県	比丘尼原遺跡	原村教育委員会	中期	
61	縄文土器 釣手土器	20.1	富山県	境A遺跡	富山県埋蔵文化財センター	後期	重文
62	土器	34	北海道	沢町遺跡	余市町教育委員会	晩期	
63	壺形土器	17.1	岩手県長	九年橋遺跡	北上市教育委員会	晩期	
64	有孔鏝付土器	46.8	長野県	花上寺遺跡	市立岡谷美術考古館	中期	長野県宝
65	水煙渦巻文深鉢	43.3	長野県	曾利遺跡	井戸尻考古館	中期中葉	長野県宝
66	縄文土器 深鉢	39.2	富山県	境A遺跡	富山県埋蔵文化財センター	中期	重文
67	水煙文土器	83	山梨県	安道寺遺跡	山梨県立考古博物館	中期	山梨県指定
68	深鉢形土器	79	茨城県	羽原遺跡	文殊院蔵(茨城県立歴史館寄託)	中期	
69	深鉢形土器集合	最大56	山梨県	一の沢遺跡	山梨県立考古博物館	中期	重文
70	蛇体把手付深鉢	全寸43.2	山梨県	天神堂遺跡	甲州市教育委員会	中期	
71	人体文付深鉢	45	岩手県	けや木の平団地遺跡	滝沢市埋蔵文化財センター	後期初頭	滝沢市指定

72	半人半蛙文有孔鏢付土器	51.7	長野県	藤内遺跡	井戸尻考古館	中期中葉	重文
73	有孔鏢付土器	26.5	神奈川県	林王子遺跡	厚木市教育委員会	中期	厚木市指定
74	人体文土器	32	福島県	和台遺跡	福島市	中期	福島県指定
75	深鉢型土器人体文	—	山梨県	諏訪原遺跡	北杜市教育委員会	中期	
76	深鉢形土器人体文	29.5	長野県	久保上ノ平遺跡	南箕輪村教育委員会	中期	長野県指定
77	笹山遺跡出土土器群	46.5	新潟県	笹山遺跡	十日町市博物館	中期	全て国宝
78	人体文突起付深鉢形土器	41.6	神奈川県	大日野原遺跡	個人	中期	
79	人面付壺形土器	27.9	青森県	小形遺跡	国立歴史民俗博物館	後期	
80	人面裝飾付注口土器	16.8	茨城県	福田貝塚	公益財団法人 辰馬考古資料館	後期	重文
81	香炉形顔面付土器	16	千葉県	良文貝塚	良文貝塚史跡保存会	後期	千葉県指定
82	顔面裝飾付深鉢形土器顔	56.4	山梨県	竹宇1遺跡	北杜市教育委員会	中期	
83	面把手付深鉢形土	43.8	長野県	海戸遺跡	市立岡谷美術考古館	中期	重文
84	器人面把手集合写真	—	山梨県	山梨県内遺跡	※(末尾記載)	—	一部山梨県指定
85	人体文様付有孔鏢付土器	54.8	山梨県	鋳物師屋遺跡	南アルプス市教育委員会	中期	重文
86	礫偶	4~6	愛媛県	上黒岩遺跡	上黒岩遺跡考古館	草創期	
87	土偶	6.8	三重県	粥見井尻遺跡	三重県埋蔵文化財センター 保管	草創期~早期	三重県指定
88	土偶	4.8	茨城県	花輪台貝塚	南山大学人類学博物館	早期	
89	土偶	3.1	滋賀県	相谷熊原遺跡	滋賀県	草創期	滋賀県指定
90	角偶	5.5	北海道	戸井貝塚	市立函館博物館	後期	函館市指定
91	岩偶	6.1	北海道	栄浜1遺跡	八雲町教育委員会	前期	
92	土偶	3	千葉県	中鹿子第2遺跡	千葉県埋蔵文化財調査センター	早期	千葉市指定
93	角偶	3.8	宮城県	沼津貝塚	東北歴史博物館	後期	
94	土偶	11.7	秋田県	向様田D遺跡	北秋田市教育委員会	晩期	
95	土偶	10.6	埼玉県	氷川神社遺跡	個人	後期	
96	土偶	—	秋田県	向様田A遺跡	北秋田市教育委員会	晩期	
97	土偶	7.4	愛知県	今朝平遺跡	豊田市	後期	豊田市指定
98	土偶	14.2	奈良県	観音寺本馬遺跡	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	晩期	
99	メノウ象嵌土偶	15	北海道	鮎川洞窟遺跡	国立歴史民俗博物館	晩期	
100	土偶	32.7	青森県	三内丸山遺跡	三内丸山遺跡センター	中期中葉	重文
101	結髪土偶	19	山形県	石田遺跡	山形大学附属博物館	晩期	山形県指定
102	土偶	15	千葉県	吉見台遺跡	佐倉市教育委員会	後期後半	
103	土偶	8.3	青森県	川原平(1)遺跡	青森県埋蔵文化財調査センター	晩期	
104	土偶	16.5	茨城県	戸立石遺跡	個人	後期	
105	土偶	21.5	福島県	上岡遺跡	福島市	後期	重文
106	合掌土偶	20	青森県	風張1遺跡	八戸市埋蔵文化財センター	後期	国宝
107	土偶	21.6	青森県	川原平(1)遺跡	青森県埋蔵文化財調査センター	後期	
108	土偶	27	長野県	棚畑遺跡	茅野市	中期初頭	国宝
109	土偶	45	山形県	西ノ前遺跡	山形県立博物館	中期中葉	国宝
110	土偶	25.5	山梨県	鋳物師屋遺跡	南アルプス市教育委員会	中期前半	重文
111	土偶	41.5	北海道	著保内野遺跡	函館市教育委員会	後期後半	国宝
112	遮光器土偶	34.2	青森県	亀ヶ岡遺跡	東京国立博物館	晩期	重文
113	腕を上げる土偶	20.4	新潟県	ツベタ遺跡	阿賀野市教育委員会	中期後葉	
114	腕を上げる土偶	20	山梨県	向原遺跡	北杜市教育委員会	中期	
115	始祖女神像	23	長野県	坂上遺跡	井戸尻考古館	中期中葉	重文
116	腕を上げる土偶	8.2	東京都	多摩ニュータウンNo.9遺跡	東京都教育委員会	中期	東京都指定
117	腕を上げる土偶	12	山梨県	桂野遺跡	笛吹市教育委員会	中期後半	
118	土偶	8.7	青森県	二枚橋2遺跡	むつ市教育委員会	晩期	
119	岩偶頭部	7.8	青森県	細野遺跡	早稲田大学會津八一記念博物館	晩期	
120	岩偶	11.8	青森県	観音林遺跡	五所川原市教育委員会	晩期	
121	土偶	23.5	山梨県	金生遺跡	北杜市教育委員会	晩期	
122	土偶集合	最大24.6	埼玉県	小林八束1遺跡	埼玉県教育委員会	晩期	

123	土偶	25.4	山梨県	上黒駒遺跡	東京国立博物館	中期前半	
124	土偶	10.2	熊本県	上南部遺跡	熊本博物館	後期	
125	土偶	11.7	秋田県	藤株遺跡	北秋田市教育委員会	後期	
126	土偶	—	三重県	天白遺跡	三重県	後期中葉～晩期初頭	三重県指定
127	土偶頭部	3.5	熊本県	三万田遺跡	熊本博物館	後期	
128	土偶頭部	4.8	熊本県	三万田遺跡	熊本博物館	後期	
129	土偶頭部	5.3	石川県	御経塚遺跡	野々市市教育委員会	晩期	重文
130	土偶	10.2	栃木県	荻ノ平遺跡	栃木県	後期	
131	土偶	18	新潟県	馬高遺跡	長岡市馬高縄文館	中期	重文
132	土偶頭部	5.8	新潟県	吉野屋遺跡	三条市	中期	
133	土偶	7.6	青森県	宮田地区	青森県立郷土館（風韻堂コレクション）	後期	
134	蛇を戴く土偶	10.5	長野県	藤内遺跡	井戸尻考古館	中期中葉	重文
135	土偶頭部	10.5	青森県	中居遺跡	八戸市埋蔵文化財センター	晩期	重文
136	貝面	20.8	熊本県	阿高貝塚	熊本博物館	中期	
137	土偶	21	石川県	御経塚遺跡	野々市市教育委員会	晩期	重文
138	木製品（面）	40	佐賀県	東名貝塚	東名縄文館	早期	
139	土偶	12.5	長野県	赤岩新屋遺跡	東御市教育委員会	後期	東御市指定
140	土面	16.7	徳島県	矢野遺跡	徳島県立埋蔵文化財総合センター	後期	重文
141	耳・鼻・口土製品	耳：8	岩手県	八天遺跡	北上市教育委員会	後期	重文
142	大型土偶頭部	23	岩手県	萩内遺跡	文化庁蔵（岩手県立博物館保管）	後期	重文
143	土面	7.3	福島県	田子平遺跡	福島県文化財センター白河館・まほろん	—	
144	土面	17.9	北海道	ママチ遺跡	文化庁蔵（北海道埋蔵文化財センター展示）	晩期	重文
145	土面	17.6	岩手県	蒔前遺跡	一戸町教育委員会	晩期	重文
146	土面	9.9	青森県	羽黒平遺跡	青森県立郷土館（風韻堂コレクション）	晩期	
147	土偶	34	長野県	中ッ原遺跡	茅野市	後期	国宝
148	板状土偶	18.8	秋田県	伊勢堂岱遺跡	北秋田市教育委員会	後期	秋田県指定
149	岩偶	16.1	秋田県	向様田A遺跡	北秋田市教育委員会	晩期	
150	岩偶	—	秋田県	堀ノ内遺跡	秋田県埋蔵文化財センター	後期～晩期	
151	土偶	1.3	秋田県	館の下遺跡（丸子川川底遺跡）	個人	後期	秋田県指定
152	土偶	—	秋田県	向様田A遺跡	北秋田市教育委員会	晩期	
153	土偶	20	秋田県	東福寺村上	湯沢市教育委員会	中期	秋田県指定
154	土版	8	秋田県	一丈木遺跡	美郷町教育委員会	中期中葉	
155	土版	5.8	秋田県	大湯環状列石	鹿角市教育委員会	後期	秋田県指定
156	土偶	23.8	秋田県	塚ノ下遺跡	大館市教育委員会	後期	秋田県指定
157	遮光器土偶	23.9	秋田県	星宮遺跡	大仙市教育委員会	晩期	秋田県指定
158	土偶	14.7	秋田県	ヲフキ遺跡	秋田県埋蔵文化財センター	後期後半	
159	土偶	20.2	秋田県	黒倉I遺跡	仙北市	中期	秋田県指定
160	土偶	22.2	秋田県	鍍田遺跡	湯沢市教育委員会	晩期	秋田県指定
161	土偶頭部	4.4	秋田県	伊勢堂岱遺跡	北秋田市教育委員会	後期	
162	土偶頭部	7.8	秋田県	ヲフキ遺跡	秋田県埋蔵文化財センター	後期後半	
163	瑪瑙装身玉	4	秋田県	刺巻遺跡	個人	中期	仙北市指定
164	土製腕輪	9.3	秋田県	藤株遺跡	北秋田市教育委員会	後期	
165	貝輪模倣土製腕輪	11.4	秋田県	向様田D遺跡	北秋田市教育委員会	晩期	
166	サメの歯（他玉類38点）	5.5	秋田県	平鹿遺跡	横手市教育委員会	晩期	
167	岩偶	9.8	秋田県	提鍋遺跡	由利本荘市教育委員会	前期	
168	鋒形石器	34	秋田県	山館上ノ山遺跡	大館市教育委員会	前期中葉	秋田県指定
169	石皿・磨石、パン状炭化物	—	秋田県	大湯環状列石	鹿角市教育委員会	後期	秋田県指定
170	岩偶頭部	9.8	秋田県	藤株遺跡	北秋田市教育委員会	晩期	
171	注口土器	8.6	秋田県	湯出野遺跡	由利本荘市教育委員会	晩期	
172	深鉢形土器	—	秋田県	提鍋遺跡	由利本荘市教育委員会	—	

173	深鉢形土器	—	秋田県	根子ノ沢遺跡	由利本荘市教育委員会	中期	
174	深鉢形土器	30.4	秋田県	根子ノ沢遺跡	由利本荘市教育委員会	中期	秋田県指定
175	土器集合	—	秋田県	大湯環状列石	鹿角市教育委員会	後期	一部秋田県指定
176	壺形土器	20.8	秋田県	大湯環状列石	鹿角市教育委員会	後期	
177	切断壺形土器	蓋を合わせて高さ15	秋田県	大湯環状列石	鹿角市教育委員会	後期	秋田県指定
178	片口土器	20.4	秋田県	大湯環状列石	鹿角市教育委員会	後期	秋田県指定
179	蓋形土器	11.6	秋田県	大湯環状列石	鹿角市教育委員会	後期	
180	壺形土器	38.3	秋田県	大湯環状列石	鹿角市教育委員会	後期	
181	単孔土器	20.7	秋田県	大湯環状列石	鹿角市教育委員会	後期	秋田県指定
182	人面付土器	27	秋田県	堀ノ内遺跡	秋田県埋蔵文化財センター	後期	
183	土偶	—	秋田県	大湯環状列石	鹿角市教育委員会	後期	秋田県指定
184	大型土偶頭部	幅11	秋田県	大湯環状列石	鹿角市教育委員会	後期	秋田県指定
185	石棒	右：全長17.4	新潟県	籠峰遺跡	上越市教育委員会	後期～晩期	新潟県指定
186	石棒	27.5	群馬県	人見東原Ⅱ遺跡	安中市	中期	
187	石棒	20	長野県	床尾中央遺跡	塩尻市立平出博物館	中期後葉	
188	石棒	15	新潟県	石田遺跡	新発田市教育委員会	中期	
189	石棒	28	神奈川県	恩名冲原遺跡	厚木市教育委員会	中期	
190	石棒	44.7	新潟県	ぼんのう遺跡	十日町市博物館	中期	
191	石棒	71.3	新潟県	芋川原遺跡	個人蔵（新潟県津南町教育委員会保管）	中期	
192	石剣	全長30	—	—	木曾三柱神社蔵（渋川市北橋歴史資料館寄託）	晩期	群馬県指定 重要文化財
193	石棒	90.5	新潟県	馬高遺跡	長岡市立科学博物館	中期	
194	石棒	100.4	新潟県	六反田南遺跡	新潟県埋蔵文化財センター	中期中葉	新潟県指定
195	石棒集合	—	群馬県	天神原遺跡	安中市	晩期	
196	彫刻木柱	65	岩手県	萩内遺跡	岩手県	後期～晩期	
197	彫刻木柱	全長153	群馬県	唐堀遺跡	群馬県埋蔵文化財調査事業団	後期	
198	大型石棒	223	長野県	佐久穂町北沢	佐久穂町教育委員会	中期	佐久穂町指定
199	彫刻付大形石棒	最大184	東京都	忠生遺跡	町田市教育委員会	中期	石棒のみ町田市指定
200	展開写真（赤漆文様浅鉢形土器）	径23、高さ7	宮城県	永根貝塚	多賀城市教育委員会	晩期	
201	展開写真（壺形土器）	—	—	—	弘前大学（成田彦栄コレクション）	—	
202	展開写真（注口土器）	—	秋田県	矢石館遺跡	—	晩期	
203	展開写真（浅鉢形土器）	径23、高さ8.5	岩手県	豊岡遺跡	岩手県立博物館	晩期	
204	展開写真（土器）	55.7	神奈川県	杉山神社遺跡	日本窯業史研究所	中期	
205	展開写真（抽象文土器）	29	東京都	神谷原遺跡	八王子市郷土資料館	中期前葉	
206	展開写真（動物文土器）	—	長野県	坪ノ内遺跡	松本市立考古博物館	—	
207	展開写真（動物文土器）	24.8	長野県	平出遺跡	塩尻市立平出博物館	中期中葉	
208	展開写真（動物文土器）	23	東京都	原山遺跡	調布市郷土博物館	中期中葉	
209	展開写真（みづち文深鉢）	42.8	長野県	九兵衛尾根遺跡	井戸尻考古館	中期中葉	
210	展開写真（深鉢形土器）	—	山梨県	柳田遺跡	国立歴史民俗博物館	中期	重文
211	展開写真（深鉢形土器）	33.5	山梨県	酒呑場遺跡	山梨県立考古博物館	中期	
212	展開写真（動物文土器）	36.5	東京都	御嶽堂遺跡	町田市教育委員会	中期	山梨県指定
213	展開写真（渦巻文土器）	59	山梨県	桂野遺跡	笛吹市教育委員会	中期	重文
214	展開写真（土器）	51.8	福島県	法正尻遺跡	福島県文化財センター白河館・まほろん	中期中葉	
215	足形付土版	—	北海道	垣ノ島A遺跡	函館市教育委員会	早期	重文
216	土偶	32	青森県	有戸島井平遺跡	野辺地町立歴史民俗資料館	後期	

※甲府市教育委員会、釈迦堂遺跡博物館、韮崎市教育委員会、南アルプス市教育委員会、山梨県立考古博物館

映像 縄文の跡（約6分） 岩手県繫遺跡（岩手県立博物館内）、長野県上原遺跡、長野県佐久穂町、岩手県樺山遺跡、北海道鷲ノ木遺跡、秋田県大湯環状列石

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

『教育あきた No. 756』「SPOT」	3/22
『秋田タウン情報』5月号	4/24
『秋田さきがけコミュニティーマガジン 郷』夏号	
『どあっぶなう』5月号	4/25
『カメイジャーナル』vol. 94	
『秋田魁新報』「縄文の美、陰影絶妙 県立近代美術館で小川忠博さん写真展」	4/23
『秋田魁新報』すいよう学芸館「美を知る」208	4/26
『読売新聞』「縄文の土器 土偶 写真展」	5/2
『岩手日報』「縄文の遺物 写しとる美」	5/4
『世界日報』「縄文の多彩さに驚き」	5/6
『秋田魁新報』小林克「詩歌でたどる縄文1～5」	5/7、5/14、5/21、5/28、6/4
『北鹿新聞』「縄文 小川忠博写真展」	5/12
『陸奥新報』「縄文の造形世界紹介」	6/4

【テレビ・ラジオ等】

AAB「トレタテ！」	4/22
AAB「サタナビっ！」	5/27

【インターネット等】

アートアジェンダ／TOKYO ART BEAT／美の国あきたネット／アキタファン／
アートスケープ／日本旅行／ウォーカープラス／web太陽／美術展ナビ

◇会場風景



白坂遺跡出土岩偶を囲む縄文造形の世界



土器表面の展開写真に縄文人の祈りを見る



秋田の縄文コーナー



土偶の大型写真パネル

ii. 特別展

皇室の名宝と秋田
～三の丸尚蔵館 収蔵品展～

会 期 2023(令和5)年7月8日(土)～9月3日(日)【56日間】
前期：7月8日(土)～ 8月2日(水)
後期：8月5日(土)～ 9月3日(日)
※8月3日(木)、4日(金)は展示替のため休場

主 催 皇室の名宝と秋田展実行委員会
(秋田県立近代美術館・ABS秋田放送)

共 催 秋田魁新報社

特別協力 文化庁、紡ぐプロジェクト、読売新聞社

協 賛 株式会社寛文五年堂

後 援 横手市、横手市教育委員会、朝日新聞秋田総局、
毎日新聞秋田支局、読売新聞秋田支局、河北新報社、
産経新聞秋田支局、日本経済新聞社秋田支局、
横手経済新聞、NHK秋田放送局、AKT秋田テレビ、
AAB秋田朝日放送、エフエム秋田、横手かまくらFM、
エフエムゆーとぴあ、FMはなび

担 当 保泉充、木村雅洋



三の丸尚蔵館は、平成5(1993)年、皇室に代々受け継がれてきた美術工芸品などを保存、調査研究、展示する施設として開館した。本展では、三の丸尚蔵館の収蔵品から、秋田ゆかりの作品と皇室の名宝を5つの章で紹介するとともに、明治天皇が東北巡幸で秋田を訪れた際の写真もパネル展示し、皇室と秋田のつながりもご覧いただいた。記念講演会として、三の丸尚蔵館の清水氏、木谷氏から、三の丸尚蔵館の活動や収蔵品について、また天皇や皇室の方々の巡幸について興味深い内容でお話しをいただいた。来場者からは、皇室に伝わる、江戸時代から近代までの著名な作家による優れた作品や秋田ゆかりの作品に触れることができたことへの喜びの声を聞くことができた。

第一章 皇室ゆかりの江戸美術

No	作品名	作者	制作年	素材技法・員数	寸法(cm)	展示期間・所蔵
1	江州日野村落図屏風	円山 応挙	安永5 (1776)	紙本着色・6曲1双	各154.5×350.4	前期
2	源氏物語図屏風	土佐 光章	江戸時代 (19世紀)	絹本着色・6曲1双	各165.0×365.8	後期
3	をくり (小栗判官絵巻) 巻7、巻12	岩佐又兵衛	江戸時代 (17世紀)	紙本着色・15巻の うち2巻	巻7：34.1×1256.6 巻12：34.5×1247.3	前期：巻7 後期：巻12
4	西行物語絵巻 巻2	尾形 光琳	江戸時代 (18世紀)	紙本着色・4巻の うち1巻	巻2：33.4×1864.0	巻替え
5	西行法師行状絵詞 絵巻3、詞巻3 (重文)	絵：依屋 宗達 講：烏丸 光廣	江戸時代 (17世紀)	紙本着色・6巻の うち2巻	絵巻3：32.7×1344.2 詞巻3：32.5×1037.8	巻替え 文化庁
6	花鳥十二ヶ月図 (5月, 6月, 7月, 8月)	酒井 抱一	文政6 (1823)	絹本着色・12幅の うち4幅	各139.0×50.4	前期
7	旭日鳳凰図	伊藤 若冲	宝暦5 (1755)	絹本着色・1幅	186.0×114.3	後期

第二章 近代絵画の名品

No	作品名	作者	制作年	素材技法・員数	寸法(cm)	展示期間・所蔵
8	孔雀図	荒木 寛敏	明治23 (1890)	絹本着色・1幅	144.4×254.4	前期
9	四時ノ名勝	川端 玉章	明治32 (1899)	絹本着色・額装4面	各166.4×84.9	後期
10	月下擣衣図	幸野 棹嶺	明治15 (1882)	絹本墨画淡彩・1幅	171.5×81.3	前期
11	月夜帰牧之図	木島 櫻谷	大正3 (1914)	絹本墨画淡彩・1幅	127.8×51.1	後期
12	佐藤忠信参館之図	水野 年方	明治31 (1898)	絹本着色・1幅	98.0×133.3	前期

13	夏冬山水図	橋本 雅邦	明治29 (1896)	絹本着色・2幅	各130.2×84.4	後期
14	乳虎	平福 穂庵	明治23 (1890)	絹本墨画淡彩・1幅	2.4×159.5	前期 秋田県立近代美術館
15	緑蔭清談	平福 穂庵	明治19 (1886)	紙本墨画淡彩・1幅	150.0×79.2	後期 秋田県立近代美術館
16	火退	堂本 印象	昭和13 (1938)	絹本着色・1幅	213.3×119.1	前期
17	光明皇后	下村 観山	明治30 (1897)	絹本着色・1幅	231.0×171.8	後期
18	虎	竹内 栖鳳	昭和3年 (1928)	絹本着色・6曲1双	各173.8×392.8	後期

第三章 平福百穂と金鈴社

No	作品名	作者	制作年	素材技法・員数	寸法(cm)	展示期間・所蔵
19	讃春	鏑木 清方	昭和8 (1933)	紙絹本着色・6曲1双	各202.4×434.2	前期
20	鶴桃桜之図	結城 素明	大正8 (1919)	絹本着色・3幅	各144.7×50.5	前期
21	夏山水	平福 百穂	昭和時代初期	紙本墨画淡彩・1幅	139.6×46.7	前期
22	伊勢物語図屏風	高取 稚成 前田 氏実 小堀 鞆音 吉川 霊華	大正5 (1916)	絹本着色・6曲1双	各140.2×49.0	後期
23	玉柏	平福 百穂	昭和3 (1928)	紙本着色・6曲1双	各162.6×357.0	前期
24	朝露	平福 百穂	大正4 (1915)	絹本着色・6曲1双	各168.2×361.6	後期
25	瑞彩 (雙峯瑞雪)	平福百穂ほか 73名	大正13 (1924)	絹本着色・3帖 (74 面)のうち1面	28.2×40.6	前期
26	現代風俗絵巻	松岡映丘ほか 12名	昭和3 (1928)	絹本着色・1巻	28.4×1197.8	後期
27	感恩講図巻	平福 百穂	明治36 (1903)	絹本着色・1帖	34.3×42.1	場面替え

第四章 秋田ゆかりの美術工芸品

No	作品名	作者	制作年	素材技法・員数	寸法(cm)	展示期間・所蔵
28	高山清秋	寺崎 廣業	大正3 (1914)	絹本裏箔着色・ 6曲1双	各168.2×364.2	前期 秋田県立近代美術館
29	秋景山水	寺崎 廣業	明治39(1906)	絹本着色・1面	170.5×70.3	後期
30	漁村之雪	寺崎 廣業	大正3(1914)	絹本墨画淡彩・1幅	114.0×40.9	後期
31	羅浮仙図	寺崎 廣業	大正2(1913)	絹本着色・1幅	226.0×56.5	後期 秋田県立近代美術館
32	平成度 悠紀地方風俗歌 屏風	東山 魁夷	平成2(1990)	紙本着色・6曲1双	各213.2×383.2	前期：右隻 後期：左隻
33	秋田名勝画帖	平福 百穂	昭和3(1928)	紙本着色・1帖	33.1×43.8	前期：1~6図 後期：7~12図
34	書画帖 (元、亨)	寺崎廣業、 平福百穂ほか	大正4(1915)	絹本着色・4帖の うち2帖	各35.1×42.7	帖替え
35	画帖	寺崎廣業ほか	大正3(1914)	絹本着色	26.9×32.8	前期
36	慶雲帖 (下)	寺崎廣業ほか	明治33(1900)	絹本着色・2帖のうち1帖	39.2×31.8	後期
37	裏表富士之図	増田 象江	明治24(1891)	紙本墨画・2帖	(表富士100景)31.0×53.0 (裏富士36景)31.2×27.0	場面替え
38	春慶塗文台	石岡庄寿郎	昭和時代前期(20世紀)	木、漆塗・1基	長37.7×幅60.6×高19.5	通期
39	流水平鉢	生駒親雄 (生駒漆工房)	昭和時代後期(20世紀)	堆朱・1点	径36.3×高5.0	通期
40	黒銅金彩花瓶	関谷 四郎	昭和55(1980)	黒銅、金、鍛金、 鍍金・1点	径20.5×高20.5	通期 秋田県立近代美術館
41	桃文銀筆筒	彫金：内藤四郎 鍛金：関谷四郎	昭和58(1983)頃	銀、彫金、鍛金・ 1点	径9.8×高12.0	通期
42	秋田犬	—	昭和時代(20世紀)	陶磁・1点	長25.7×幅7.2×高22.8	通期

第五章 近代日本工芸の精華

No	作品名	作者	制作年	素材技法・員数	寸法(cm)	展示期間・所蔵
43	七宝四季花鳥図花瓶	並河 靖之	明治32(1899)	七宝・1点	径25.0×高36.0	通期
44	墨画月夜深林図額	濤川 惣助	明治32(1899)	七宝・1点	130.5×80.0	通期
45	文使	高村 光雲	明治33(1900)	木彫・1点	幅28.0×奥行28.0×高56.5	前期
46	伏鳥籠形ボンボニエール	—	昭和時代前期(20世紀)	銀・1点	径4.7×高7.0	通期
47	菊花形ボンボニエール	—	昭和9(1934)	銀・1点	径6.0×高2.8	通期
48	手鏡形すみれ文ボンボニエール	—	昭和5(1930)	銀・1点	5.8×8.1×高1.5	通期
49	貝桶形流水菊花葵文ボンボニエール	—	昭和10(1935)	銀・1点	4.7×4.3×高5.9	通期
50	丸形鴛鴦文ボンボニエール	—	昭和34(1959)	銀・1点	径5.8×高2.2	通期
51	洲浜形ボンボニエール	—	昭和5(1930)	銀・1点	4.0×6.2×高1.8	通期
52	犬張子形ボンボニエール	—	昭和9(1934)	銀・1点	3.0×5.4×高5.0	通期
53	木瓜形桐文ボンボニエール	—	昭和16(1941)	ジュラルミン・1点	径5.9×高2.0	通期
54	六角櫃形岩に杜若文ボンボニエール	—	昭和13(1938)	銀・1点	5.7×6.5×高3.6	通期
55	碁盤形ボンボニエール	—	昭和39(1964)	銀・1点	4.3×5.0×高3.1	通期

※所蔵表記のないものは全て三の丸尚蔵館蔵

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

『秋田魁新報』 すいよう学芸館「美を知る」	7/5
『秋田魁新報』 「皇室に伝わる名品紹介」	7/20
『読売新聞』 「やわらかな線 凜とした美」 宮内庁三の丸尚蔵館学芸室主任研究官 清水緑	7/2
『読売新聞』 「皇室に伝わる名品紹介」	7/8
『読売新聞』 紡ぐプロジェクト上「昭和の繁栄願う若竹」	7/13
『読売新聞』 紡ぐプロジェクト中「東山魁夷描く秋田の四季」	7/14
『読売新聞』 紡ぐプロジェクト下「繊細な描写 七宝鮮やか」	7/15
『北鹿新聞』 情報ステーション	7/20
『市報よこて』 イベントカレンダー	8月
『TOWN JOHO』	7月号
『r a ・ k r a』 ART&EXHIBITION	7・8月号
『どあっぷなう』 8月のイベント情報	8月号
『あっぷる』 AKITA EVENT NAVI	8月号
『ギャラリー』 スケジュール ミュージアム	8月号
『月刊美術』 美術館一全国	8月号
『新美術新聞』	8月号

◇会場風景



開会式・内覧会



ギャラリートーク

iii. 特別展

奇想天外×大胆不敵 浮世絵師 歌川国芳展

会 期 2023(令和5)年9月9日(土)～11月5日(日) 【58日間】

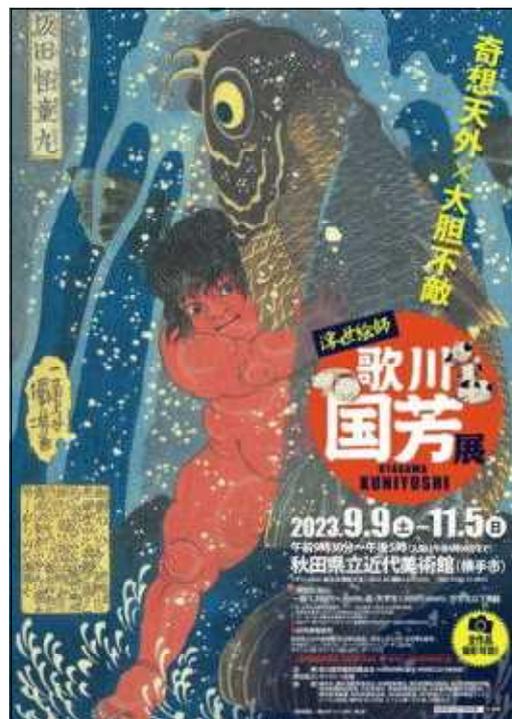
主 催 歌川国芳展実行委員会

(AAB秋田朝日放送・秋田県立近代美術館)

特別協力 ギャラリー紅屋

後 援 横手市、横手市教育委員会、秋田魁新報社、
朝日新聞秋田総局、毎日新聞秋田支局、読売新聞秋田支局、
河北新報社、産経新聞秋田支局、日本経済新聞社秋田支局、
横手経済新聞、NHK秋田放送局、ABS秋田放送、
AKT秋田テレビ、岩手朝日テレビ、エフエム秋田、
横手かまくらFM、エフエムゆーとぴあ、FMはなび

担 当 秋田達也、藤井正輝



人気の浮世絵師・歌川国芳（1797-1861）の作品167件および関連作品7件の計174件を展示した。国芳が得意とした武者絵・戯画・風景画を中心に、西洋画からの影響や擬人化表現についても特集し、国芳の魅力が凝縮された展示となった。ご所蔵者のご厚意により、「展示替なし」「全作品撮影可能」とすることができたのも特筆すべきことである。また、会期中には府中市美術館の学芸員・金子信久氏による講演会も開催した。秋田大学の地域連携ゼミの学生によるSNSでの作品紹介をはじめ、趣向を凝らした会場のパネルやバナー、4種の異なるデザインのチラシ、SNSと連動したポストカードプレゼントのほか、国芳が描いた双六で遊ぶイベントなども開催したが、期待していたほど入場者数は伸びなかった。ただ、来場者アンケートによる満足度は高く、実際に展示を見られた方々には国芳の魅力を十分に堪能していただけたものと思う。

第1章 武者絵 Cool & Dynamic

No	作品	判型	年代
1	源頼光（西村屋版武者絵シリーズ）	大判 2枚続	文化13-14年(1816-17)頃
2	魔津伊多見治郎（葛屋版武者絵シリーズ）	大判	文政9-10年(1826-27)頃
3	天竺徳兵衛（川口版武者絵シリーズ）	大判	文政9-10年(1826-27)頃
4	美家本武蔵（川口版武者絵シリーズ）	大判	文政9-10年(1826-27)頃
5	通俗水滸伝豪傑百八人之一個 浪子燕青	大判	文政11-12年(1828-29)頃
6	通俗水滸伝豪傑百八人之一個 扈三娘一丈青	大判	文政10年(1827)頃
7	通俗水滸伝豪傑百八人之壹人 浪裡白跳張順	大判	文政11-12年(1828-29)頃
8	通俗水滸伝豪傑百八人之壹人 短冥次郎阮小吾	大判	文政11-12年(1828-29)頃
9	通俗水滸伝豪傑百八人一個 旱地忽律朱貴	大判	文政11-12年(1828-29)頃
10	通俗水滸伝豪傑百八人之一個 九紋龍史進・跳澗虎陳達	大判	文政10年(1827)頃
11	本朝水滸伝豪傑八百人一個 猪早太広直	大判	天保元-2年(1830-31)頃
12	本朝水滸伝豪傑八百人一個 早川鮎之助	大判	天保2年(1831)頃
13	本朝水滸伝豪傑八百人一個 土喜大四郎元貞	大判	天保4-6年(1833-35)頃
14	坂田怪童丸	大判	天保7年(1836)頃
15	碓井又五郎飛弾山中ニ打大猿ヲ（西村屋版武者絵シリーズ）	大判	天保4-6年(1833-35)頃
16	出雲伊磨（山口屋版武者絵シリーズ）	大判	天保4-6年(1833-35)頃
17	平知盛亡霊の図	大判 3枚続	文政元-3(1818-20)年
18	清盛入道布引滝遊覧悪源太義平霊討難波次郎	大判 3枚続	天保元年(1830)頃
19	八犬伝之内芳流閣	大判 3枚続	天保11年(1840)
20	源頼光公館土蜘蛛作妖怪図	大判 3枚続	天保14年(1843)

21	鬼若丸の鯉退治	大判 3 枚続	弘化2年(1845)頃
22	相馬の古内裏	大判 3 枚続	弘化2-3年(1845-46)
23	弁慶が勇力戯に三井寺の梵鐘を叡山へ引揚る図	大判 3 枚続	弘化2-3年(1845-46)
24	宮本武蔵の鯨退治	大判 3 枚続	弘化4年(1847)頃
25	稲葉山中におみて荒猪を生捕たる強勇を大将の目にとり臣下とす	大判 3 枚続	嘉永元-3年(1848-50)頃
26	讃岐院眷属をして為朝をすくふ図	大判 3 枚続	嘉永4年(1851)
27	宇治川合戦之図	大判 3 枚続	嘉永2年(1849)
28	和田合戦義秀惣門押破	大判 3 枚続	嘉永6年(1853)
29	大江山酒呑童子	大判 3 枚続	嘉永4年(1851)
30	源牛若丸僧正坊ニ隨武術を覚図	大判 3 枚続	嘉永4年(1851)頃
31	大物之浦海底之図	大判 3 枚続	嘉永4年(1851)
32	大物浦平家の亡霊	大判 3 枚続	嘉永2-4年(1849-51)頃
33	真田与市能久・俣野五郎景久	大判 3 枚続	天保6年(1835)頃
34	薩摩守平忠度	大判 3 枚続 (版下絵)	天保6-7年(1835-36)頃
35	源頼朝卿富士牧狩之図	大判 6 枚続	弘化3年(1846)
36	文覚上人那智の瀧荒行	大判縦 3 枚続	嘉永4年(1851)頃
37	吉野山合戦	大判縦 3 枚続	嘉永4年(1851)頃
38	四条縄手の戦い	大判 6 枚続	安政4年(1857)

特集 I 国芳と洋風表現

No	作品名	判型など	制作年
39	忠臣蔵十一段目夜討之図	横大判	天保2-3年(1831-32)頃
40	仮名手本忠臣蔵四段目 由良之助 市川団蔵	横大判	天保6年(1835)
41	誠忠義士肖像 潮田政之丞高教	大判	嘉永5年(1852)
42	誠忠義士肖像 吉田沢右エ門包貞	大判	嘉永5年(1852)
43	誠忠義士肖像 富之森祐右エ門正固	大判	嘉永5年(1852)
44	武田信玄諏訪頼重の陣中を打くづす図	大判 3 枚続	嘉永3-4年(1848-51)頃
45	甲越川中島大合戦	大判 3 枚続	嘉永5年(1852)
参1	司馬江漢《異国戦闘図》	紙本油彩 1 面	天明-寛政期(1781-1801)頃
参2	ニューホフ『東西海陸紀行』	銅版(挿絵) 1 冊	1682年(オランダ)
参3	ヤン・ヨンストン『動物図譜』【秋田県立近代美術館蔵】	銅版(挿絵) 2 冊のうち	1660年(オランダ)
参4	森島中良『紅毛雑話』【秋田県立近代美術館蔵】	半紙本 5 冊	天明7年(1787)
46	近江の国の勇婦於兼	横大判	天保2-3年(1831-32)頃
47	源頼家公鎌倉小壺海遊覧 朝夷義秀雌雄鱒を捕ふ図	大判 3 枚続	天保14年(1843)
48	二十四孝童子鑑 大舜	横大判	天保14-弘化元年(1843-44)
49	二十四孝童子鑑 董永	横大判	天保14-弘化元年(1843-44)
50	二十四孝童子鑑 姜詩	横大判	天保14-弘化元年(1843-44)
51	二十四孝童子鑑 閔子騫	横大判	天保14-弘化元年(1843-44)
52	二十四孝童子鑑 王祥	横大判	天保14-弘化元年(1843-44)
53	唐土廿四孝 王祥	中判	嘉永元-3年(1848-50)
54	二十四孝童子鑑 呉猛	横大判	天保14-弘化元年(1843-44)
55	唐土廿四孝 呉猛	中判	嘉永元-3年(1848-50)
56	唐土廿四孝 張孝張礼	中判	嘉永元-3年(1848-50)
57	和漢準源氏 野わき	大判	安政2年(1855)
58	和漢準源氏 乙女	大判	安政2年(1855)

第2章 風景画 Exotic & Modern

No	作品名	作者名	判型	制作年
59	東都名所 洲崎初日出の図		横大判	天保3-4年(1832-33)頃
60	東都名所 浅草今戸		横大判	天保3-4年(1832-33)頃

61	東都名所	てつぽふづ	横大判	天保3-4年(1832-33)頃
62	東都名所	するがだひ	横大判	天保3-4年(1832-33)頃
63	東都名所	両国の涼	横大判	天保3-4年(1832-33)頃
64	東都名所	かすみが関	横大判	天保3-4年(1832-33)頃
65	東都名所	佃嶋	横大判	天保3-4年(1832-33)頃
66	東都名所	新吉原	横大判	天保3-4年(1832-33)頃
67	東都名所	大森	横大判	天保3-4年(1832-33)頃
68	東都名所	両国柳ばし	横大判	天保3-4年(1832-33)頃
69	相州江之嶋之図		大判3枚続	嘉永2-4年(1849-51)頃
70	東都富士見三十六景	昌平坂の遠景	横大判	天保14年(1843)頃
71	東都富士見三十六景	山王神事雪解の富士	横大判	天保14年(1843)頃
72	東都富士見三十六景	新大はし橋下の眺望	横大判	天保14年(1843)頃
73	東都富士見三十六景	隅田堤の夕富士	横大判	天保14年(1843)頃
74	東都御厩川岸之図		横大判	天保2-3年(1831-32)頃
75	東都宮戸川之図		横大判	天保2-3年(1831-32)頃
76	東都橋場之図		横大判	天保2-3年(1831-32)頃
77	東都三ツ股之図		横大判	天保2-3年(1831-32)頃
78	東都首尾の松之図		横大判	天保2-3年(1831-32)頃
参5	小田野直武	《岩に牡丹図》【秋田県立近代美術館蔵】	絹本着色 1面	安永期(1772-81)頃

特集Ⅱ 国芳と擬人化

No	作品名	判型	制作年
79	えびごこ	中短冊判	天保13年(1842)頃
80	金魚に目高	中短冊判	天保13年(1842)頃
81	きん魚づくし ぼんぼん	中判	天保13年(1842)頃
82	金魚づくし いかだのり	中判	天保13年(1842)頃
83	くつろぐ夏の猫美人たち	団扇絵	天保13年(1842)頃
84	おぼろ月猫の盛	団扇絵	弘化3年(1846)頃
85	猫の左仮	団扇絵	弘化3年(1846)頃
86	里すゞめねぐらの仮宿	大判3枚続	弘化3年(1846)
87	雀の百狂 鳥さし	団扇絵	天保13年(1842)頃
88	諸鳥やすうりづくし	団扇絵	天保13年(1842)頃
89	狸ト狐の遊	団扇絵	天保13年(1842)頃
90	道外狐へん化のけいこ	横大判	天保13年(1842)頃
91	道外獣の雨やどり	横大判	天保13年(1842)頃
92	十二支見立職人づくし	大判	天保13年(1842)頃
93	龍宮玉取姫之図	大判3枚続	嘉永6年(1853)頃
94	龍宮遊さかなげいづくし	大判3枚続	弘化4年(1847)頃
95	百亀家久 かるわざ・四天王の見立	大判(中判2丁掛)	天保13年(1842)頃
96	かゑるづくし	大判	天保13年(1842)頃
97	蝦蟇手本ひやうきんぐら 大序・二段目	大判(中判2丁掛)	弘化4年(1847)頃
98	蝦蟇手本ひやうきんぐら 三段目・四段目	大判(中判2丁掛)	弘化4年(1847)頃
99	蝦蟇手本ひやうきんぐら 五段目・六段目	大判(中判2丁掛)	弘化4年(1847)頃
100	道外てうちんぐら 三段目・四段め	大判(中判2丁掛)	天保期(1830-44)末
101	道外化粧のたわむれ 大森	団扇絵	天保14年(1843)頃
102	道外化粧のたわむれ 花火	団扇絵	天保14年(1843)頃
103	藤次流行思ひの竹沢 さらまわし	中判	弘化元年(1844)頃
104	藤次流行思ひの竹沢 しんぼふのまがりなたたきなおす	中判	弘化元年(1844)頃
105	しんぼふくらべこゝろの竹沢	団扇絵	弘化元年(1844)頃
106	こまの竹沢 藤治のきゝものたるまハシ	団扇絵	弘化元年(1844)頃

107	駒くらべ将棋の戯 王将手・桂馬のふんどし	大判 (中判 2 丁掛)	天保14年(1843)頃
108	駒くらべ将棋のたわむれ 桂馬のたかあがり歩のゑじき・飛車とり王将て	大判 (中判 2 丁掛)	天保14年(1843)頃
109	駒くらべ盤上太平棊	大判 3 枚続	天保14年(1843)頃
110	化物忠臣蔵	大判 3 枚続	天保10-13年(1839-42)
111	道外化もの百物がたり	横大判	天保13年(1842)頃
112	道外化もの夕涼	横大判	天保13年(1842)頃
113	流行達磨遊び 蕎麦・首引き	横大判	天保10-13年(1839-42)頃
114	流行達磨遊び 手が出る足が出る	横大判	天保10-13年(1839-42)頃
115	てるてる法主おひよりおどり	大判	嘉永2年(1849)
116	道外十二月 三月ひいなのいさかい・四月初物のあらそい	横大判 (中判 2 丁掛)	天保後期(1840-44)頃
117	雷つくし 雷の白浪・雷きらひの鍾馗	大判 (中判 2 丁掛)	天保13年(1842)頃
118	雷つくし 夕立の前ぶれ・雷修行	大判 (中判 2 丁掛)	天保13年(1842)頃
119	さむがり狸・初午のたぬき	大判 (中判 2 丁掛)	天保13年(1842)頃
120	狸の川がり・狸の夕立	大判 (中判 2 丁掛)	天保13年(1842)頃
121	狸の小金玉・狸のどふけだるま	大判 (中判 2 丁掛)	天保13年(1842)頃
122	あらためて狸のたむれ 弁慶・福祿寿と布袋	大判 (中判 2 丁掛)	天保14年(1843)頃
123	福祿寿あたまのたむれ 年始回り・川渡し	大判 (中判 2 丁掛)	天保13年(1842)頃
124	福祿寿あたまのたむれ 雨宿り・あくび	大判 (中判 2 丁掛)	天保13年(1842)頃
125	福ろく寿あたまのたむれ 入道・荷物	大判 (中判 2 丁掛)	天保13年(1842)頃
126	福祿寿あたまのたむれ 瓜・天狗	大判 (中判 2 丁掛)	天保13年(1842)頃

第3章 戯画 Wit & Humor

No	作品名	判型	制作年
127	其まゝ地口猫飼好五十三疋	大判 3 枚続	嘉永元年(1848)頃
128	たとゑ尽のうち	大判 3 枚組	嘉永5年(1852)
129	絵鏡台合かゝ身 猫／しゝ・みゝづく・はんにやあめん	団扇絵 2 枚組	天保13年(1842)頃
130	其面影程能写絵 獵人にたぬき／金魚にひごいッ子	大判 2 枚組	嘉永元年(1848)頃
131	独楽	団扇絵	天保14年(1844)頃
132	猫の当字 ふぐ	大判	天保13年(1842)頃
133	猫の当字 たこ	大判	天保13年(1842)頃
134	国芳もやう正札附現金男 野晒悟助	大判	弘化2年(1845)頃
135	流行うきよひやうたん もんがくひやうたん	団扇絵	天保14年(1843)頃
136	人かたまつて人になる	大判	弘化4年(1847)頃
137	としよりのよふな若い人だ	大判	弘化4年(1847)頃
138	みかけハコハゐがとんだいゝ人だ	大判	弘化4年(1847)頃
139	人をばかにした人だ	大判	弘化4年(1847)頃
140	年が寄ても若い人だ	大判	嘉永元年(1848)頃
141	似たか金魚	団扇絵	天保13年(1842)頃
142	魚の心	大判	天保13年(1842)頃
143	猫の百面相 忠臣蔵	団扇絵	天保12年(1841)
144	猫のおどり	団扇絵	天保12年(1841)頃
145	流行猫の戯 梅が枝無間の真似	大判	弘化4年(1847)頃
146	亀喜妙々	大判 3 枚続	嘉永元年 (1848) 頃
147	当ル奉納願お賀久面	大判 3 枚続	嘉永元年 (1848) 頃
148	荷宝蔵壁のむだ書 黄腰壁	大判 3 枚	嘉永元年 (1848) 頃
149	荷宝蔵壁のむだ書 黒腰壁	大判 2 枚	嘉永元年 (1848) 頃
150	欠留人物更紗 十四人のからだにて三十五人にミゆる	大判 3 枚	嘉永元年 (1848) 頃
151	白面笑壁のむだ書	横大判	天保13年(1842)頃
152	かしら一つ	大判	天保12-13年(1841-42)
153	両面相 だるま・げどう／とくさかり・伊休	大判	嘉永2-3年(1849-50)頃

154	両面相 ほてい・あさひな／せうき・張飛	大判	嘉永2-3年(1849-50)頃
155	百色面相 くつさめ他	横大判	天保11年(1840)頃
156	百色面相 めかつかひ他	横大判	天保11年(1840)頃
157	妙名異相胸中五十三面 日本橋から戸塚	大判	弘化4-嘉永元年(1847-48)頃
158	妙名異相胸中五十三面 藤沢から三嶋	大判	弘化4-嘉永元年(1847-48)頃
159	妙名異相胸中五十三面 沼津から奥津	大判	弘化4-嘉永元年(1847-48)頃
160	破家利口振分双六	双六	嘉永3-5(1850-52)年
161	朝比奈義秀小人遊	大判	天保13年(1842)頃
162	朝比奈三郎義秀小人じま遊	大判	天保13年(1842)頃
163	朝比奈小人嶋遊	大判 3枚続	弘化4年(1847)頃
164	浮世よしづ久志	大判 2枚続	弘化4-嘉永元年(1847-48)頃
165	流行逢都絵希代稀物	大判 3枚続	嘉永元年(1848)頃
166	名誉右に無敵左り甚五郎	大判 3枚続	嘉永元年(1848)頃
167	勇国芳桐対模様	大判 3枚続	嘉永元年(1848)頃
参6	落合芳幾《国芳死絵》	大判	文久3年(1861)
参7	歌川芳富《国芳死絵》	大判	文久3年(1861)

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

『秋田魁新報』 すいよう学芸館「美を知る」227	9/6
『横手経済新聞』(Web版)	9/9
『mari mari』 「アート探訪」	9/29

【テレビ・ラジオ】

AAB秋田朝日放送 「情報ニュースショー トレタテ！」	9/9
NHK秋田放送局 「ニュースこまちサタデー」	9/16
AAB秋田朝日放送 「サタナビっ！」	9/23

◇会場風景



iv. 特別展

「みんなのキンビ」プロジェクト 第1弾 からだじゅうであじわう 大根ビネーション展

会期	2023(令和5)年11月11日(土) ～2024(令和6)1月28日(日)【64日間】 年末年始休館：12月29日(金)～1月2日(火) メンテナンス休館：1月16日(火)～1月25日(木)
主催	「みんなのキンビ」プロジェクト実行委員会 NPO法人アーツセンターあきた NPO法人アートリンクうちのあかり 秋田県産業技術センター 秋田県立栗田支援学校 秋田県立横手清陵学院中学校・高等学校 秋田公立美術大学附属高等学院 秋田県立近代美術館（事務局）
企画・トータルディレクション	渋谷和之氏（渋谷デザイン事務所）
担当	北島珠水、保泉充、木村雅洋



「みんなのキンビ」プロジェクトは、当館を中核に多様な主体が連携・協働する3年計画の事業である。本事業は、年齢や障害の有無等にかかわらず美術を通じて人々が出会い、ともに学び合える場を創造することで、「障害者の生涯学習」の促進や地域のつながりづくり、地域活力の向上などに寄与することを目的としている。

本展は、「みんなのキンビ」プロジェクトの成果を展示する展覧会として開催し、1年目の令和5年度は、テーマを「からだじゅうであじわう」とし、展覧会の名称は「からだじゅうであじわう 大根ビネーション展」とした。

本展では「みる」ことにとどまらず、「さわる」、「きく」等、様々な感覚であじわえる展示やワークショップを行い、作家や障害のある方、デザイン会社、映像制作会社、高等学校や特別支援学校の生徒など、地域のたくさんの方との協働により実現している。

本展は、「ふるさと秋田」や地域や人とのつながり、その背景にある「根っこ（ルーツ）」について多様な視点から見つめ直し、「私たちの根っこをもっと大きく、さらに太く育む」という趣旨から、「大きな根っこ」を象徴する「大根」を表現テーマに設定した。大胆で分かりやすく、かつ身近な切り口により、年齢や立場を超え、たくさんの方と一緒に作り上げることができ、展覧会名にもあるとおり思いが結びつく（「コンビネーション | Combination」）空間となった。関連イベントとして8回行ったワークショップには、幅広い年代層、障害のある方の参加をいただき、交流を重ねた。

■展示作品

- Dego. 1 大根絵馬に祈る（高性寺/五城目町）
- Dego Challenge① 「大根絵馬に描いてお祈りしよう」（AAREA/能代市）
- Dego. 2 根こそぎ “キンビの掘り出しもの” 《前編》
- Dego. 3 押忍！ 大根おどり（東京農業大学×秋田県立横手支援学校×キンビコミュニケーター）
- Dego. 4 ギリギリ大根実験室（ココラボ ゴトー）
- Dego. 5 root painting oreject（永沢碧衣）
- Dego. 6 いぶりがっこ物語（木能実、平川慧、NPO法人アートリンクうちのあかり）
- Dego. 7 夢の動物（秋田県立栗田支援学校×秋田公立美術大学附属高等学校）
- Dego Challenge② さわってみる絵「不忍池図」（秋田県産業技術センター）
- Dego. 8 うんとこしょ！（秋田公立美術大学）
- Dego. 9 近美チルドレンここに在り！（多賀糸尊）
- Dego. 10 秋田の風景のようなデザイン（草薙デザイン事務所）
- Dego. 11 沼山からの贈りもの（株式会社アウトクropp×沼山大根）
- Dego. 12 電気の根×咀嚼音BGM（秋田県立横手清陵学院高等学校×黒崎平）
- Dego. 13 “大根役者”という言葉の謎（劇団わらび座/仙北市）
- Dego. 14 根こそぎ “キンビの掘り出しもの” 《後編》（舟越保武「たっこ」「ANN」）
- Dego. 15 がっこ茶っこ物語（羽場こうじ茶屋くらを）

Dego.16 “根”子集落という生き方（澁谷デザイン事務所×根子写真館）

Dego.17 Dai-Com-Ashi（澁谷デザイン事務所×根子写真館）

◇会場風景



第1展示室



東京農業大学の「青山のほとり」（大根踊り）の動画を放映



第2展示室



絵画作家・永沢碧衣さんをお迎えしてのワークショップ



第3展示室



第4展示室

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

『秋田魁新報』 すいよう学芸館「美を知る」

11/15

『読売新聞』

11/15

『横手経済新聞』（web版）

11/27

『mari mari』アート探訪

【テレビ・ラジオ】

NHKニュースこまち

12/1

NHKもりスタ！

1/4

V. 企画展

アキタの書・その魅力

会 期 2024(令和6)年2月3日(土)～4月14日(日)【72日間】
 主 催 秋田県立近代美術館
 担 当 木村雅洋、鈴木京

1994(平成6)年に秋田県横手市に開館した県立近代美術館は、間もなく30周年を迎える。この間収蔵してきた作品・資料は2800点以上を数え、このうち書の作品は約260点、全体の1割ほどを占めている。「アキタの書・その魅力」展ではこれらに焦点を当て、明治から平成に至る当館の代表的な書の作品とその魅力についてご覧いただくという内容である。明治末期から昭和の初めに中央との交流から発展していった秋田の書壇の様子をご覧いただく第1章から始まり、第2章では横手市出身の書家・松井如流を、第3章では現代へと続く書の流れを、第4章では秋田市出身の大井錦亭の作品をご紹介します。本展では、展示作家に学んだお弟子さんや県の書団体の方も観覧に訪れ、10mを超える大作や揮毫で使った巨大筆、4室全て書で埋め尽くされた空間など、普段の美術館とは一味違った展示内容を存分にお楽しみいただいたようである。



第1章：秋田・近代書の黎明期

No	作品名	制作年	技法等	寸法(cm)	備考
長 三州 1833(天保4)年～1895(明治28)年					
1	七言律詩	制作年不詳	紙本墨書 軸装	134.5×57.0	
犬養 木堂 1855(安政2)年～1932(昭和7)年					
2	宋之問 陸渾山莊	制作年不詳	紙本墨書 軸装	146.0×39.8	
日下部 鳴鶴 1838(天保9)年～1922(大正11)年					
3	七言絶句	制作年不詳	紙本墨書 軸装	132.6×48.4	
4	論書十二絶之一 蘭亭序	制作年不詳	紙本墨書 軸装	132.6×52.5	
5	詩稿	制作年不詳	紙本墨書 軸装	60.5×27.4	
6	書城衛竹邊	1900(明治33)	紙本墨書 額装	44.0×176.4	
巖谷 一六 1834(天保5)年～1905(明治38)年					
7	秋日偶成	制作年不詳	紙本墨書 軸装	124.0×31.0	
8	十聲楼	1902(明治35)	紙本墨書 額装	34.0×131.0	
9	五言古詩・仙界	制作年不詳	紙本墨書 6曲1双	各132.0×49.0 各132.0×53.0	寄託作品
赤星 藍城 1857(安政4)年～1937(昭和12)年					
10	寧静致遠	制作年不詳	紙本墨書 額装	94.0×101.5	
11	好直則徳廣	1931(昭和6)	紙本墨書 額装	34.1×137.6	
12	邯鄲夢未熟黄梁	制作年不詳	紙本墨書 6曲1隻	各110.0×33.0	
13	溪彩山水図	1928(昭和3)	紙本墨書 軸装	180.0×65.0	
14	山水画賛衝立 隸書七言絶句	1913(大正2)	紙本墨画淡彩 衝立	86.0×110.0	
資料	赤星家所蔵印章及び藍城資料	—	—		
比田井 天来 1872(明治5)年～1939(昭和14)年					
15	稟靈亀之修寿	制作年不詳	紙本墨書 軸装	138.5×31.4	
16	地湧祥雲紅鶴舞 天開瑞雨白龍朝	制作年不詳	紙本墨書 額装	49.6×34.2	
17	和南堂	1934(昭和9)	紙本墨書 額装	51.0×163.0	
内藤 湖南 1866(慶応2)年～1934(昭和9)年					
18	寒山句	1891(明治24)	紙本墨書 軸装	132.6×35.0	

山口 蘭溪 1882(明治15)年～1975(昭和50)年				
19	留雲籠竹葉・邀月伴桃花	制作年不詳	紙本墨書 軸装(対幅)	各124.3×19.2
20	華筵燦爛	制作年不詳	紙本墨書 額装	33.6×124.2
21	龍遊鳳集	制作年不詳	紙本墨書 額装	45.5×131.5
近藤 雪竹 1863(文久3)年～1928(昭和3)年				
22	右為醫十五則赤星國手属書	制作年不詳	紙本墨書 額装	33.5×137.6

第2章：松井如流 ～少字数書にみる絵画的空間表現へ

No	作品名	制作年	技法等	寸法(cm)	備考
松井 如流 1900(明治33)年～1988(昭和63)年					
23	高適 醉後贈張九旭	1930(昭和5)	紙本墨書 軸装	177.0×93.0	
24	杜甫 北征詩	1932(昭和7)	紙本墨書 軸装(対幅)	各241.0×60.0	第1回東方書道会会展銅賞
25	臨張遷碑	1933(昭和8)	紙本墨書 軸装	242.0×110.0	第2回東方書道会会展銀牌受賞
26	寒山詩	1950(昭和25)	紙本墨書 軸装(対幅)	各129.0×68.0	第6回日展
27	黃龍赤鳥	1949(昭和24)	紙本墨書 軸装	65.0×91.0	
28	永平	1962(昭和37)	紙本墨書 額装	97.0×171.0	書法と形象展(オランダ・ドイツ)に出品
29	永	1962(昭和37)	紙本墨書 額装	138.0×210.0	第6回東方書道院展
30	杜甫 屏跡三首 其一(杜少陵詩)	1963(昭和38)	紙本墨書 額装	200.0×68.0	第6回日展、第20回日本芸術院賞受賞
31	驅(がく)	1964(昭和39)	紙本墨書 額装	139.0×70.0	第6回東京書道会展
32	散	1966(昭和41)	紙本墨書 額装	138.0×138.0	第18回毎日書道展
33	龍虎	1970(昭和45)	紙本墨書 組立椽	138.0×400.0	第14回東方書道院展
34	古	1968(昭和43)	紙本墨書 額装	138.0×138.0	第20回毎日書道展
35	丹愚	1987(昭和62)	紙本墨書 額装	166.0×87.0	第19回改組日展(絶筆)、後に石碑化
資料	松井如流関連書籍等				

第3章：現代へと続く書の流れ

No	作品名	制作年	技法等	寸法(cm)	備考
下田 耿禾 1930(昭和5)年～2020(令和2)年					
36	忘機百慮空	2003(平成15)	紙本墨書 額装	234.0×62.0	
大野 石齋 1925(大正14)年～2013(平成25)年					
37	進	1979(昭和54)	紙本墨書 額装	111.0×114.0	第31回毎日書道展グランプリ準大賞受賞
資料	ワールドゲームズで使用した筆 2001(平成13)				
手島 右卿 1901(明治34)年～1987(昭和62)年					
38	行不由逕	制作年不詳	紙本墨書 額装	32.5×133.5	
佐藤 蒼龍 1912(明治45)年～2002(平成14)年					
39	纈人報花梢月上來停琴坐秋影落空階	1980(昭和55)頃	紙本金地墨書 2曲1隻	各178.0×69.0	
秋田 師山 1934(昭和9)年～2021(令和3)年					
40	劉禹錫詩	1988(昭和63)	紙本墨書 2曲1隻	各105.0×51.0	第20回日展
41	江流	1988(昭和63)	紙本墨書 額装	70.0×180.0	
高坂 修司 1942(昭和17)年～2019(平成31)年					
42	駕浪	2004(平成16)	紙本墨書 額装	75.0×161.0	
増澤 土龍 1943(昭和18)年～2019(平成31)年					
43	道無窮	2000(平成12)	紙本墨書 額装(印章)	29.8×20.9	第32回日展
44	篆刻「秋田県立近代美術館」	2005(平成17)	石・篆刻	8.0×8.0×8.0	第57回毎日書道展
45	「秋田県立近代美術館」印譜	2005(平成17)	紙・額装	29.8×20.8	
高橋 東香 1936(昭和11)年～					
46	百人一首	2007(平成19)	紙本墨書 パネル装(2枚組)	97.0×327.0	
佐々木 青洋 1925(大正14)年～2005(平成17)年					
47	うしろのしょうめんだあれ	1999(平成11)	紙本墨書 額装	147.0×141.0	第54回日書展

第4章：大井錦亭 ～雄大な書と詩的世界

No	作品名	制作年	技法等	寸法(cm)	備考
大井 錦亭 1927(昭和2)年～2020(令和2)年					
48	莫高窟飛天飛遊の夏の穹	1995(平成7)	紙本墨書 額装(6面)	150.0×1000.0	第4回大井錦亭書展
49	燦然	2008(平成20)	紙本墨書 額装	45.0×132.5	
50	湊小唄	2004(平成16)	紙本墨書 額装(2面)	各136.0×103.0	
51	石川啄木歌	1995(平成7)	紙本墨書 額装(10面)	各230.0×53.0	第4回大井錦亭書展
52	自詠ふるさと	2008(平成20)	紙本墨書 額装	103.0×134.0	
53	画龍点睛	1995(平成7)	紙本墨書 額装(4面)	150.0×600.0	第4回大井錦亭書展

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

『秋田県書道連盟会報』129号	9/27
『秋田魁新報』すいよう学芸館「美を知る」147	2/7
『読売新聞』ギャラリー	2/21
『marimari』アート探訪 vol.745	3/1
『世界日報』文化欄	3/16

【テレビ・ラジオ等】

エフエム秋田「秋田県からのお知らせ」	3/8
--------------------	-----

◇会場風景



i. 2023 コレクション展 第I期
樹を描く 木で創る

会期：2023(令和5)年4月12日(水)～7月9日(日) 【89日間】

担当：鈴木秀一

ギャラリートーク：5月28日(日)、6月25日(日) 各日14:00～



第1展示室

No	作家名	作品名	制作年	材質・技法・員数	寸法(cm)
1	佐竹 義躬	岩に牡丹	—	紙本着色 軸装	108.2 × 29.1
2	小田野 直武	芍薬花籠 凶	1770年代	絹本着色 軸装	94.5 × 21.0
3	岡 琴湖	桜下美人	—	絹本着色 軸装	141.0 × 51.0
4	寺崎 廣業	淵明撫松	1910(明治43)	絹本着色 軸装	198.0 × 58.0
5	寺崎 廣業	王摩詰	1907(明治40)	絹本着色 軸装	165.0 × 84.5
6	加藤 雪窓	知音	1897(明治30)	絹本着色 軸装	145.0 × 71.0
7	奈良 裕光	桃実る	大正末-昭和初期	絹本着色 2曲1隻	174.0 × 201.0
8	月居 偉田	十和 讚歌	1985(昭和60)	紙本墨画 淡彩 4曲1隻	178.0 × 240.0
9	福田 豊四郎	十和田風景	昭和10年代	絹本着色 6曲1双	各136.4 × 297.0
10	伊藤 弥太	樹間十和田	1965(昭和40)	紙本淡彩 軸装	40.5 × 40.5
11	伊藤 弥三郎	小安峡	—	紙本淡彩 額装	51.0 × 45.0
12	堀川 達三郎	杜	1963(昭和38)	紙本着色 額装	181.8 × 227.3
13	結城 天童	わが庭	1994(平成6)	紙本着色 額装	130.0 × 194.0
14	結城 天童	四季の華	1988(昭和63)	紙本着色 屏風	171.5 × 364.2
15	高橋 萬年	白梅	—	紙本着色 額装	85.5 × 107.0

第2展示室

No	作家名	作品名	制作年	材質・技法・員数	寸法(cm)
16	桜庭 藤二郎	遅春	1976(昭和51)	紙本着色 額装	226.5 × 182.0
17	斎藤 英昌	北国に咲く	1976(昭和51)	紙本着色 額装	182.0 × 212.3
18	信太 金昌	葦と森	1957(昭和32)	紙本着色 額装	153.0 × 182.0
19	信太 金昌	高原	1957(昭和32)	紙本着色 額装	195.5 × 105.5
20	太田 秋耕	鳥海早春	1974(昭和49)	紙本着色 額装	33.0 × 45.0
21	伊藤 博次	ある日	1973(昭和48)	油彩、キャンバス	116.7 × 80.3
22	金子 義之助	落葉	1991(平成3)	油彩、キャンバス	162.1 × 97.0
23	金沢 秀之助	南方風景 IV	1942-44頃	油彩、キャンバス	37.0 × 45.0
24	相澤 謙一	白い磧	1989(平成元)	油彩、キャンバス	116.7 × 116.7
25	相澤 謙一	千秋公園風景	1990(平成2)	油彩、キャンバス	116.7 × 116.7
26	葛西 康郎	緑園の午後	1971(昭和46)	油彩、キャンバス	162.1 × 130.3
27	山形 八郎	晩夏 (A)	1984(昭和59)	油彩、キャンバス	130.3 × 162.1
28	斎藤 彦彦	時の跡・インヒヨドリ	2012(平成24)	油彩・アキーラ、キャンバス	116.7 × 91.0
29	斎藤 彦彦	時の跡2005	2005(平成17)	油彩・アキーラ、キャンバス	227.3 × 162.0
30	高橋 功功	永遠からの振動(白)	1987(昭和62)	合板・木・油彩	92.0 × 110.0
31	高橋 功功	うずまき	1996(平成8)	合板・木・油彩	122.0 × 87.0 × 3.0
32	高橋 功功	今・ここに・I	1998(平成10)	合板・木・油彩	70.0 × 69.0
33	高橋 功功	情熱 - 赤	1998(平成10)	合板・木・油彩・アルミ	84.9 × 56.5
34	高橋 功功	X - 青	1998(平成10)	合板・木・油彩	65.0 × 55.0
35	高橋 功功	X - 白 - II	1998(平成10)	合板・木・油彩・アルミ	72.3 × 60.9
36	高橋 功功	雄物川町に雪が降る Lareige tembe sur Omonogawa-machi	1997(平成9)	油彩、板	123.6 × 84.0

第3展示室

No	作家名	作品名	制作年	材質・技法・員数	寸法(cm)
37	勝平 得之	〈秋田十二景〉雪の湖月濠	1931(昭和6)	木版、紙	22.6 × 29.6
38	勝平 得之	〈千秋公園八景〉春の湖月濠	1933(昭和8)	木版、紙	22.4 × 29.7
39	勝平 得之	〈秋田十二景〉太平山遠望	1939(昭和14)	木版、紙	22.6 × 29.6
40	勝平 得之	〈千秋公園八景〉眺望台の秋	1937(昭和12)	木版、紙	22.4 × 29.7
41	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉リンゴ	1940(昭和15)	木版、紙	29.0 × 40.4
42	佐々木 英	箭蒔絵平棗	1982(昭和57)	櫨・蝶鈿・研出蒔絵	径 7.8 × 高 5.5
43	佐々木 英	蒔絵飾箱「萌春」	1977(昭和52)	桐・彩切貝・研出蒔絵	11.0 × 22.0 × 16.0
44	佐々木 英	蒔絵飾箱「月歌」	1979(昭和54)	桐・夜光切貝研出蒔絵	10.0 × 20.0 × 13.0
45	佐々木 英	蒔絵飾箱「海麗」	1974(昭和49)	桐・玉虫貝・研出蒔絵	10.0 × 20.0 × 13.0
46	佐々木 英	彩切貝ぶどう文線文雪吹	1984(昭和59)	桜・彩切貝	径 7.3 × 高 7.8
47	佐々木 英	刈田図蒔絵中次	1982(昭和57)	桜・彩切貝・研出蒔絵	径 6.6 × 高 7.0
48	古関 六平	蒼穹への誘い'99	—	ケミカルウッド、夜光貝・白島貝	22.5 × 50.0 × 45.5
49	古関 六平	散華聴来	1988(昭和63)	ケミカルウッド・漆	22.0 × 33.0 × 51.0
50	古関 六平	恵存	1983(昭和58)	ケミカルウッド・漆	46.0 × 46.0 × 28.0
51	河津 五郎	十一面観音像	—	木彫	8.3 × 8.5 × 29.5
52	河津 五郎	弥勒菩薩半迦思惟像	—	木彫	27.0 × 27.5 × 61.5
53	山本 豊市	髪 II	1979(昭和54)	乾漆	22.5 × 23.5 × 35.5
54	佐々木 素雲	(伝) 普賢菩薩	—	木(桂)	15.4 × 30.5 × 48.0
55	峯田 敏郎	記念撮影 一遠い日の風音・私のふるさとー	2013(平成25)	桂・真鍮	90.0 × 110.0 × 170.0
56	峯田 敏郎	記念撮影 一遠い日の風音・小田野直武ー	2016(平成28)	桂	76.0 × 97.0 × 180.0

◇関連記事

【新聞・雑誌等】 『秋田魁新報』 すいよう学芸館「美を知る」206 4/12
『読売新聞』 6/14
【テレビ・ラジオ】 NHK秋田放送局 ニュースこまち 4/14

ii. 2023 コレクション展 第Ⅱ期
キンビ・版画セレクション

会期：2023(令和5)年7月12日(水)～10月9日(月・祝) 【90日間】

担当：藤井正輝

ギャラリートーク：7月12日(日)、9月2日(日) 各日14:00～



第1展示室

No	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	藤田 嗣治	リトグラフィ子供シリーズ・煙突掃除	—	リトグラフ、紙	19.0×19.0
2	藤田 嗣治	パンを持つ少女	—	リトグラフ、紙	56.5×38.0
3	藤田 嗣治	猫を抱く少女	—	リトグラフ、紙	32.0×54.0
4	藤田 嗣治	女二人	1925(大正14)	エッチング、紙	19.5×17.5
5	藤田 嗣治	自画像	1922(大正11)	エッチング、紙	39.5×26.0
6	藤田 嗣治	裸婦	1930(昭和5)	エッチング、紙	34.0×26.3
7	藤田 嗣治	自画像	1926(大正15)	エッチング、紙	44.5×34.0
8	藤田 嗣治	黙示録の四騎士	—	エッチング・手彩色、紙	40.5×32.4
9	藤田 嗣治	黙示録の7人のラッパ手	—	エッチング・手彩色、紙	40.5×32.4
10	藤田 嗣治	裸婦 *立っている裸婦	—	エッチング、紙	56.0×37.5
11	藤田 嗣治	裸婦 *女ともだち	—	エッチング、紙	56.0×37.5
12	高橋 甲子男	玄山水十図	2009(平成21)	エッチング、紙	10枚組 各36.0×30.0
13	小田野直武	鱒図【秋田蘭画】※前期	1770年代	紙本着色 軸装	17.0×61.0
14	小田野直武	富嶽図【秋田蘭画】※後期	1770年代	紙本着色 軸装	43.5×77.0
15	梅津 祐司	Earth 1	1980(昭和55)	リトグラフ、紙	67.0×85.0
16	梅津 祐司	Earth 2	1980(昭和55)	リトグラフ、紙	17.5×25.0
17	梅津 祐司	Earth 3	1981(昭和56)	リトグラフ、紙	35.5×45.5
18	梅津 祐司	Earth 4	1981(昭和56)	リトグラフ、紙	55.0×43.0
19	梅津 祐司	Earth 5	1981(昭和56)	リトグラフ、紙	43.0×55.0
20	梅津 祐司	Earth 8	1982(昭和57)	リトグラフ、紙	55.0×43.0
21	梅津 祐司	Earth 9	1982(昭和57)	リトグラフ、紙	55.0×43.0
22	梅津 祐司	見果てぬ夢Ⅱ	1978(昭和53)	リトグラフ、紙	47.7×58.8
23	梅津 祐司	見果てぬ夢Ⅲ	1978(昭和53)	リトグラフ、紙	58.7×47.8
24	梅津 祐司	見果てぬ夢Ⅳ	1978(昭和53)	リトグラフ、紙	56.0×45.0
25	梅津 祐司	見果てぬ夢Ⅵ	1978(昭和53)	リトグラフ、紙	58.3×51.8
26	梅津 祐司	見果てぬ夢Ⅶ	1979(昭和54)	リトグラフ、紙	51.0×58.0

第2展示室

No	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
27	上矢 津	YELLOW OUT	1975(昭和50)	シルクスクリーン、紙	32.5 × 42.1
28	上矢 津	BLACK OUT 731	1975(昭和50)	シルクスクリーン、紙	31.3 × 43.3
29	吉村 益信	Cut Sea A	1973(昭和48)	シルクスクリーン、紙	29.5 × 38.5
30	桑原 盛行	群組織の相関(作品)	—	シルクスクリーン・インク、紙	57.0 × 54.5
31	馬場 彬	GRAY OF GRAY 1 不安の概念	1981(昭和56)	シルクスクリーン、紙	102.0 × 102.0
32	馬場 彬	GRAY OF GRAY 2 象徴の消滅	1981(昭和56)	シルクスクリーン、紙	72.0 × 72.0
33	馬場 彬	GRAY OF GRAY 3 不確かな肖像の意味するもの	1981(昭和56)	シルクスクリーン、紙	99.0 × 71.0
34	馬場 彬	GRAY OF GRAY 4 アンチ モニュメント A	1981(昭和56)	シルクスクリーン、紙	72.0 × 72.0
35	馬場 彬	GRAY OF GRAY 5 アンチ モニュメント B	1981(昭和56)	シルクスクリーン、紙	73.0 × 94.0
36	馬場 彬	GRAY OF GRAY 6 浮遊	1981(昭和56)	シルクスクリーン、紙	72.0 × 98.0
37	馬場 彬	GRAY OF GRAY 7 消えゆく事象	1981(昭和56)	シルクスクリーン、紙	64.0 × 87.0
38	馬場 彬	GRAY OF GRAY 8 ドア	1981(昭和56)	シルクスクリーン、紙	97.0 × 71.0
39	馬場 彬	作品'65	1965(昭和40)	油彩、キャンバス	130.0 × 162.0
40	野呂 正男	A i - 3 2	1973(昭和48)	モノタイプ、紙	80.3 × 60.6
41	野呂 正男	A i - 2 1	1971(昭和46)	モノタイプ、紙	80.3 × 60.6
42	針生 鎮郎	梟	1979(昭和54)	シルクスクリーン、紙	64.7 × 50.5
43	針生 鎮郎	梟	1979(昭和54)	シルクスクリーン、紙	64.7 × 50.5
44	針生 鎮郎	われる	1982(昭和57)	シルクスクリーン、紙	86.5 × 61.1
45	針生 鎮郎	ふたつ	1982(昭和57)	シルクスクリーン、紙	61.6 × 84.8
46	針生 鎮郎	ひとつ	—	シルクスクリーン、紙	84.1 × 61.1
47	伊藤彌四夫	浮上 94	1994(平成6)	木版、紙	90.0 × 60.0
48	伊藤彌四夫	蝕 73.No. 2	1973(昭和48)	木版、紙	90.0 × 60.0

49	伊藤彌四夫	春曉	1992(平成4)頃	木版、紙	90.0 × 60.0
50	伊藤彌四夫	光芒(仮題)	1983(昭和58)	木版、紙	90.0 × 60.0
51	伊藤彌四夫	原生98-A	1998(平成10)	木版、紙	90.0 × 60.0

第3展示室

No	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
52	勝平 得之	番楽	1956(昭和31)	木版、紙	48.0 × 62.0
53	勝平 得之	飾山囃子	1957(昭和32)	木版、紙	46.7 × 61.6
54	勝平 得之	送り盆(横手)	1940(昭和15)	木版、紙	59.0 × 86.2
55	勝平 得之	七夕(湯沢)	1937(昭和12)	木版、紙	36.7 × 51.4
56	勝平 得之	〈農民風俗十二ヵ月〉水車(7月)	1950(昭和25)	木版、紙	24.9 × 21.8
57	勝平 得之	収穫(同作あり)	1933(昭和8)	木版、紙	37.6 × 52.2
58	勝平 得之	〈農民風俗十二ヵ月〉雀追い(8月)	1951(昭和26)	木版、紙	24.9 × 21.8
59	勝平 得之	〈米作四題〉耕土(春)	1952(昭和27)	木版、紙	40.0 × 131.8
60	勝平 得之	〈米作四題〉田植(夏)	1950(昭和25)	木版、紙	40.0 × 131.8
61	勝平 得之	〈米作四題〉刈あげ(秋)	1951(昭和26)	木版、紙	40.0 × 131.8
62	勝平 得之	〈米作四題〉堆肥運び(冬)	1949(昭和24)	木版、紙	40.0 × 131.8
63	勝平 得之	豊年盆踊(西馬音内)	1948(昭和23)	木版、紙	40.0 × 127.0
64	三村 治男	日が昇るころ	1982(昭和57)	木版、紙	24.0 × 56.0
65	三村 治男	尾瀬ヶ原七月朝	1984(昭和59)	木版、紙	25.0 × 56.0
66	三村 治男	霧の早朝	1979(昭和54)	木版、紙	34.5 × 51.2
67	三村 治男	早春	1992(平成4)	木版、紙	37.0 × 56.0
68	三村 治男	紅葉	1993(平成5)	木版、紙	37.0 × 56.0
69	三村 治男	残照	1989(平成元)	木版、紙	23.0 × 56.0
70	三村 治男	雪の朝	1982(昭和57)	木版、紙	38.0 × 25.5
71	三村 治男	アグネスレイク	1982(昭和57)	木版、紙	38.0 × 25.5
72	三村 治男	朝の海	1981(昭和56)	木版、紙	54.0 × 37.0
73	三村 治男	尾瀬ヶ原十月早朝	1985(昭和60)	木版、紙	54.0 × 37.0
74	三村 治男	越後駒ヶ岳	1986(昭和61)	木版、紙	54.0 × 37.0
75	三村 治男	霧の風景午後	1987(昭和62)	木版、紙	54.0 × 38.0
76	三村 治男	尾瀬ヶ原六月初旬	1986(昭和61)	木版、紙	54.0 × 38.0
77	三村 治男	サイプラスの木	1979(昭和54)	木版、紙	54.0 × 38.0
78	三村 治男	メンドシーノの家	1979(昭和54)	木版、紙	54.0 × 37.0
79	高橋 萬年	書簡箋用版木(亀)	—	—	—
80	高橋 萬年	書簡箋用版木(桜、椿)	—	—	—

◇関連記事

【新聞・雑誌等】

『秋田魁新報』すいよう学芸館「美を知る」221

7/26

『秋田さきがけコミュニティーマガジン 郷』季刊誌 夏号 vol.154

iii. 2023コレクション展 第三期
遊び戯る 美

会期：2023(令和5)年10月12日(木)～2024(令和6)年1月9日(火) 【85日間】

※休館日 2023(令和5)年12月29日(金)～2024(令和6)年1月2日(火)

担当：鈴木京

ギャラリートーク：10月21日(土)、12月2日(土) 各日14:00～



No	作家名	作品名	制作年代	材質・形態	員数	寸法(cm)
1	松井 如流	歌	—	紙本墨書	1点	90.0×90.0
1 秋田蘭画一武士の遊興						
2	田代忠国・佐竹義躬	紅毛玻璃器図	18～19世紀	絹本着色	1幅	37.0×53.0
3	小田野直武	雷魚図	1770年代	絹本着色	1幅	25.0×28.5
2 愛でたい遊び						
4	平福 穂庵	乳虎	1890(明治23)	絹本着色	1幅	66.9×128.2
5	平福 百穂	巖頭千鳥	1927(昭和2)	紙本着色	襖4面	各177.0×89.8
6	増田 九木	牡丹	江戸後期	紙本墨画淡彩	1幅	108.0×53.2
7	平福 百穂	空庭喜雀	1921(大正10)	紙本着色	1幅	155.0×54.0
8	平福 百穂	松溪游鹿 [寄託品]	1924(大正13)頃	絹本着色	1幅	141.3×50.5
9	福田豊四郎	鴉	1940(昭和15)	紙本銀地着色	6曲1双	各168.5×372.0
10	寺崎 廣業	美人	1897(明治30)頃	絹本着色	3幅対	各126.0×50.0
11	西宮 礼和	万年青	明治期か	紙本着色	3幅対	各116.5×33.0
12	福田豊四郎	石	昭和期	紙本着色	1点	95.0×124.0
13	渋谷 重弘	野を盛る	1995(平成7)	油彩・キャンバス	1点	72.8×91.0
14	柴田 是真	蘭亭曲水図	—	絹本着色	1幅	155.0×86.0
15	長山 孔寅	梅下遊興図	1800年代初期	絹本墨画淡彩	1幅	62.5×150.0
3 音楽と遊び						
16	(伝)小田野直林	唐美人奏楽	18～19世紀	紙本着色	1幅	132.0×55.0
17	寺崎 廣業	天の岩戸	明治30年代	絹本着色	1幅	147.0×84.0
18	吉川 霊華	弁財天	1929(昭和4)	紙本墨画淡彩	1幅	129.4×30.5
19	小紋 章子	ジャズる	1964(昭和39)	油彩・キャンバス	1点	116.7×91.0
20	金沢秀之助	樹下弹琴	1966(昭和41)	油彩・キャンバス	1点	130.3×97.0
21	鎌田 敏子	彩を謳う	2004(平成16)	油彩・板	1点	162.5×194
4 戯れるものたち キャラ&どうぶつ						
22	平福 百穂	神語	1918(大正7)	紙本墨画淡彩	3幅対	各55.7×68.0
23	小川 芋銭	浪裡白跳	昭和期	紙本墨画淡彩	1幅	60.3×90.5
24	蓑虫 山人	鄭思遠	明治期か	紙本墨画	1幅	176.0×96.0
25	倉田 松濤	風俗図屏風	1922(大正11)	紙本墨画淡彩	6曲1双	各180.0×360.0
26	平福 百穂	猷戯図	1915(大正4)	紙本墨画淡彩	6曲1双	各93.6×296.3
27	高橋 萬年	一掃百態(模写)	1915(大正4)	紙本墨画淡彩	1巻	—
28	正雲 ほか	根付(仙人畫眠牙彫等326点のうち)	—	牙彫、木彫	20点	—
29	平福 穂庵	夜窓鬼談	1893(明治26)	冊子	2冊の内	各27.0×16.0
5 現実と遊び						
30	福田豊四郎	田園抄村童12ヶ月	1964(昭和39)	紙本着色	1点	各17.8×13.9、13.9×17.8
31	千葉 禎介	雀追い 横手市大雄狐塚	1943(昭和18)	ゼラチンシルバープリント	1点	22.4×28.8
32	千葉 禎介	村の乙女たち 平鹿郡	1949(昭和24)	ゼラチンシルバープリント	1点	25.4×30.4
33	千葉 禎介	雪国の子等 横手市	1950年代	ゼラチンシルバープリント	1点	19.8×30.3
34	大野源二郎	土ぼこり 千畑町(現美郷町)	撮影1957(昭和32)、制作年不詳	ゼラチンシルバープリント	1点	20.5×14.3
35	大野源二郎	道端 大曲市蛭川(現大仙市)	撮影1960(昭和35)、制作2000(平成12)	ゼラチンシルバープリント	1点	23.0×16.2
36	大野源二郎	村祭り(薬師神社祭典) 大曲市蛭川(現大仙市)	撮影1963(昭和38)、制作1993(平成5)	ゼラチンシルバープリント	1点	20.1×14.4
37	宮腰喜久治	まつりの日	1988(昭和63)	油彩・キャンバス	1点	130.3×162.1
38	伊勢 正義	集ひ	1935(昭和10)	油彩・キャンバス	1点	180.0×301.0
39	佐藤 義雄	カフェーにて	1971(昭和46)	油彩・キャンバス	1点	80.3×116.7
40	一木 惇	銀座暮色	1935(昭和10)	油彩・キャンバス	1点	53.0×41.0
41	堀 文子	八丈島風景	1949(昭和24)	紙本着色	1点	70.7×88.1
42	田口 省吾	街の音楽	1931(昭和6)	油彩・キャンバス	1点	112.1×145.5
43	金子 義償	インドにて	1990(平成2)	油彩・キャンバス	1点	193.9×97.0

◇関連記事 【新聞・雑誌等】『秋田さきがけコミュニティーマガジン 郷』季刊誌 秋号 vol.155
『秋田魁新報』すいよう学芸館「美を知る」234

10/25

iv. 2023 コレクション展 第IV期
雪月花のとき

会期：2024(令和6)年1月12日(金)～4月7日(日) 【77日間】
※休館日 1月16日(火)～25日(木)
担当：秋田達也
ギャラリートーク：2月4日(日)、3月2日(土) 各日14:00～



No	作者名	作品名	制作年	材質・技法・員数	寸法(cm)
【雪】					
1	高橋 萬年	雪松図	—	紙本着色 1幅	142.8×72.0
2	桜庭藤二郎	奥入瀬遅春	1980(昭和55)	紙本着色 1面	173.0×216.0
3	桜庭藤二郎	阿修羅遅春	1978(昭和53)	紙本着色 1面	178.0×224.5
4	寺崎 廣業	谿間の雪	—	紙本着色 1幅	175.7×22.7
5	寺崎 廣業	〈瀟湘八景〉江天暮雪	1912(大正1)	紙本着色 1幅	52.1×86.8
6	寺崎 廣業	山谷冬里図	1917(大正6)	紙本墨画 6曲1双	各151.5×352.0
7	寺崎 廣業	〈白馬山八題〉雪溪花苑	1917(大正6)	紙本着色 1幅	57.9×89.2
8	寺崎 廣業	白馬雪溪	1917(大正6)	絹本着色 1幅	184.8×86.4
9	高橋 清見	雪明り	1995(平成7)	紙本着色 1面	180.0×223.0
10	寺崎 廣業	墨堤之雪	1893(明治26)	絹本着色 1幅	65.4×110.4
11	酒井 三良	残照	1923(大正12)	絹本着色 1幅	136.0×112.0
【月】					
12	勝平 得之	かまくら	1955(昭和30)	木版、紙 1枚	39.5×140.0
13	勝平 得之	男鹿のナマハゲ	1962(昭和37)	木版、紙 1枚	16.1×48.4
14	勝平 得之	ナマハゲ(男鹿)	1940(昭和15)	木版、紙 3枚	左右39.7×15.0、中39.7×29.7
15	勝平 得之	〈秋田十二景〉夜の秋田大橋	1938(昭和13)	木版、紙 1枚	22.6×29.6
16	勝平 得之	〈秋田十二景〉外濠夜景	1929(昭和4)	木版、紙 1枚	22.6×29.6
17	佐々木 英	蒔絵箱「月歌」	1979(昭和54)	桐、夜光切貝研出蒔絵 1合	高13.0×10.0×20.0
18	寺崎 廣業	〈瀟湘八景〉洞庭秋月	1912(大正1)	紙本着色 1幅	52.1×86.8
19	寺崎 廣業	不忍池畔	1894(明治27)	絹本着色 1幅	49.1×67.8
20	寺崎 廣業	〈白馬山八題〉雪溪残月	1917(大正6)	紙本着色 1幅	57.9×89.2
21	平福 百穂	夕月	—	紙本墨画淡彩 1幅	128.4×31.7
22	平福 百穂	梅月相思	1932(昭和7)	絹本着色 対幅	各137.0×36.0
23	小野崎大凌	鶉	—	絹本着色 1幅	128.0×42.0
24	寺崎 廣業	美人観月図	—	絹本着色 1幅	118.5×50.5
25	三森 山静	蘆に小禽	—	絹本着色 1幅	125.0×48.0
26	寺崎 廣業	歴史説話図屏風	—	紙本着色 6曲1双	各120.0×271.8
27	辻 九阜	秋声賦意	1898(明治31)	絹本着色 1幅	98.0×42.0
28	平福 穂庵	蕭何追韓信図	1886(明治19)頃	絹本着色 1幅	126.8×56.2
29	西宮 礼和	赤壁の賦	1903(明治36)	紙本墨画淡彩 1幅	102.5×42.5
30	佐々木裕久	地の華一凍結した夜	1972(昭和47)	紙本着色 1面	120.0×165.2
31	荘司 福	祈り	1964(昭和39)	紙本着色 1面	110.0×125.0
32	高橋 清見	月明り	1996(平成8)	紙本着色 1面	195.0×195.0
33	桜庭藤二郎	山河	1983(昭和58)	紙本着色 1面	208.8×164.3
【花】					
34	横山 大観	春曙・秋雨	1913(大正2)	絹本着色 対幅	各120.0×41.0
35	高橋 清見	花明り	1994(平成6)	紙本着色 1面	195.0×195.0
36	寺崎 廣業	小野小町	1899(明治32)	絹本着色 1幅	127.2×50.5
37	平福 穂庵	墨堤舟遊	頃	絹本着色 1幅	127.5×55.0
38	平福 穂庵	藤花游鯉	1887(明治20)	紙本着色 1幅	133.4×52.5
39	高橋 萬年	夏の午後	1890(明治23)	絹本着色 1幅	119.0×35.5
40	平福 百穂	富貴草	—	絹本着色 1幅	142.6×41.6
41	結城 素明	不老富貴	—	絹本着色 対幅	各127.0×41.8
42	高橋 萬年	四季彩	—	紙本着色 1面	150.0×150.0
43	草彌 興宗	牡丹	—	紙本着色 1幅	129.0×39.0
44-1	堀 文子	廢墟 ※1/12～3/11 展示	—	紙本着色 1面	88.1×70.7
44-2	渡部 榮子	遅い春 ※3/12～4/7 展示	1948(昭和23)	紙本着色 1面	167.6×121.9
45	荘司 福	温室	1974(昭和49)	紙本着色 1面	168.0×150.0
46	横山 津恵	五月の花	1950(昭和25)	紙本着色 1面	172.3×217.5
47	横山 津恵	花埋み	1974(昭和49)	紙本着色 1面	103.0×102.9
48	横山 津恵	華と猫	1973(昭和48)	紙本着色 1面	182.3×227.7

◇関連記事

【新聞・雑誌等】	『秋田魁新報』すいよう学芸館「美を知る」	244	1/10
	『秋田魁新報』県南版		1/14
	『mari mari』「アート探訪」		2/1
	『河北新報』「東北の美術館・博物館」		2/28
【テレビ・ラジオ】	NHKラジオ イベントお知らせコーナー		随時

教育普及事業

誰もが気軽に足を運んで美術を楽しめる親しみやすい美術館を目指し、講演会や美術館講座、美術館教室等を開催している。また当館事業の広報活動を行うとともに、郷土作家を扱った美術番組等のハイビジョン上映、県内外の美術情報や美術館に関する図書資料の提供等、美術の情報センターとしての役割も果たしている。

さらに美術館を第二の学校として活用する県の事業「教育施設等のセカンドスクールの利用※」において学校の授業時数にカウントできる体験活動も行っている。

距離的・時間的に当館への気軽な来館が難しい県北等の地域に対しては、能代エナジウムパークを会場とした「出前美術展」や県立図書館を会場とした「ネットワーク事業」を実施。また当館収蔵品を活用したキンビアートカードの貸し出し等も行っている。

※令和5年度から実技体験の受け入れを再開した。



鑑賞の様子

特別展「みんなのキンビ」プロジェクト第1弾

「大根ビネーション展」(2023. 11/11～2024. 1/28)

● キンビ・創作体験プログラム

美術館教室

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	写真教室「ライティング撮影・現像&プリントに挑戦！」	7月1日(土) ・2日(日)	中学生以上一般 各日10名	草薨 裕 (秋田公立美術大学助教)	各1日	9名・7名 計16名	木村 北島
II	日本画教室 「好きな果物を描こう！」	9月30日(土) ・10月1日(日)	中学生以上一般 15名	大関智子 (秋田公立美術大学助教)	全2日	14名	保泉 木村
III	版画教室2 「エッチングで銅版画に挑戦!!」	10月21日(土) ・22日(日)	中学生以上一般 各日10名	伊藤由美子 (版画家)	各1日	9名・10名 計19名	藤井 鈴秀

みんなの教室

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	カラーインクをつかってみよう!!	5月14日(日)	小学生以上一般 AM・PM各回10名	木村雅洋 (当館学芸主事)	1日	8名 +引率5名	木村 藤井
II	木の工作 つくろう!ぶんぼうぐアニマルズ! 3	7月30日(日)	小学生以上一般 10名	木村雅洋 (当館学芸主事)	1日	7名 +引率4名	木村 藤井
III	羽子板に描こう!!	12月3日(日)	小学生以上一般 10名	藤井正輝 (当館学芸主事)	半日	9名	藤井 北島

きつずあーと

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	おさかなすいぞくかん	8月6日(日)	未就学児 10名	北島珠水 (当館学芸主事)	半日	14名 +引率9名	北島 鈴秀
II	スタンプぺったんアート	9月3日(日)	未就学児 10名	鈴木秀一 (当館学芸主事)	半日	8名 +引率8名	鈴木 藤井

美術館教室

I. 写真教室 7/1・2

秋田公立美術大学コミュニケーションデザイン専攻助教の草薨裕氏を講師にお迎えして開催する写真教室も今年で3年目となった。昨年同様初日を「撮影編」、2日目を「プリント編」に分けて実施した（いずれかの参加でもOK）。

「撮影編」では6階研修室の机・椅子を寄せて広くし、スタジオに見立てて館内彫刻作品6体を題材に撮影演習を行なった。草薨氏によるカメラの操作設定やライティングののレクチャーを受け、参加者同士が協力し合いながら彫刻を撮影してゆく。特に光の当て方については、「逆光」や「斜光」は知っていても、ライトを使った「反射光」や「間接光」を初めてやってみた人が多く、その陰影が生む効果には驚きを隠せないようであった。

2日目のプリント編では、参加者が各自で準備した写真データ（初日の参加者は彫刻を撮影した中で気に入ったデータ）からデジタルネガを作成し、暗室で印画紙に画像を焼き付けていった。データをプリンターで出力した写真とは違い、現像液や停止液を使った昔ながらの方法で焼き付けられた写真には、深味のある黒の階調があり存在感が感じられる。暗室での作業や、現像液に浸した印画紙に浮かび上がる画像を見るのも初めてという参加者がほとんどで、「写真作品を制作する」ことについて理解を深めるよい機会になったと思われる。



II. 日本画教室 9/30・10/1

大関智子氏を講師に迎えて開催する日本画教室も今回で3年目となった。制作は果物のスケッチに始まり、パネルに貼った和紙への転写、墨での下描き、そして岩絵の具による着彩へと進んだ。今回は初めて箔も使い、より日本画の技法を楽しめる内容となった。参加者は馴染みの無い日本画材料の扱いに苦労しているようだったが、講師からの適切なアドバイスにより、皆無事完成まで辿り着くことができた。緊張の中でも終始和気藹々としたムードで進められた教室は、参加者のもっと日本画を学びたいという思いを残して終えることとなった。



III. 版画教室2 10/21・22

昨年度に続いて版画家の伊藤由美子氏に本教室の講師を依頼。今回は版画教室2「エッチングで銅版画に挑戦！」を開催した。銅版画やエッチングは初めてだという参加者がほとんどだった。工程が多いことに加え、グランド引きといったかなりコツのいる作業や強酸性の腐蝕液を扱う作業もあり、5時間で大丈夫だろうかと思うこともあったが、伊藤先生には一つ一つの作業に細かな解説を交えながら丁寧に教えていただいた。参加者からは「やり応えがあり、充実した時間だった」「やってみたいとずっと思っていた」「もっとやってみたい」など、大変満足度の高いお声をいただいた。



みんなの教室

I. カラーインクを使ってみよう!! 5/14

今回の教室は、カラーインクを使用して道具と紙の関係について参加者に興味を持ってもらう内容である。インクの描画では、水で溶く濃度や紙質の影響が大きく、水彩絵の具以上に発色や滲みのコントロールで注意が必要となる。その事を実感してもらうため、上質紙や画用紙、習字紙や本格的な水彩紙などを準備し、発色やにじみの具合を体験してもらいながらの制作としてみた。様々な試し描きをした後、各自で準備してきたB5サイズの簡単なイラストに取り組んでゆく。急ぐあまり乾く前に隣り合う色を塗ってしまい滲む場面も見られたが、時間的な余裕はあったので再度取組み完成させることができた。

近年は大型書店でもカラーインクを入手することができるようになってきたが、まだまだ使ったことがないという人も多い。参加者も実際に絵を描いてみて発色の美しさや取扱いの便利さに感心する一方で、塗り方や紙の選び方については注意しなければならない事があることに気づいていただけたようである。ゴールデンウィーク明けのため参加者が少なめだったので、今後は実施時期や広報の仕方について検討を重ねたい。



II. つくろう! ぶんぼうぐアニマルズ! 3 7/30

木の板材や棒などを使って、テープカッターや定規、鉛筆削りといった文房具の機能を備えたオブジェを作る教室も今年で3回目となる。前回同様、モチーフは身近な動物や昆虫とし、テープカッターのリールや刃といったアレンジの必要がほぼない部分を事前にユニット化して組み込めるように準備しておいた。

参加者は親子で相談したりしながら、使う樹種や色、足や羽根など各パーツの大きさや厚みを調整しつつ作品を作ってゆく。今回は作業のしやすさを考慮して大きめの材料を準備しておいたので、おおらかで自由な作品が見受けられたようだ。テープカッターを作った人がほとんどだったが、定規や鉛筆削りの機能を作品に落とし込むためには、形の単純化や複数のパーツをどう組み合わせるかなど、デザイン的なアレンジを加える必要がある。その点テープカッターは、中央部のリールと刃を挟み込むための表裏の形を比較的自由に作ることができるので取組みやすかったのだろう。参考作品を提示はしていたが、シンプルな板材や棒材を実際にどのように組み合わせ、面白い形をつくってゆくか? という発想についても説明をしておくべきだったかもしれない。



III. 羽子板に描こう!! 12/3

羽子板絵付けの教室を開催した。羽子板は8mm厚のベニヤ材を電動ジグソーで1枚1枚カットし、ヤスリをかけて仕上げたので参加費を安く設定することができた。画材はアクリル絵具の他、細線引き用にボスカを複数色用意した。事前の通知に下描き用紙(原寸)を添付して前もってデザインを考えてきてもらったり、ドライヤーを3台用意して効率よく乾燥させられるようにしたりすることで、半日で完成できるよう工夫した。親子で協力しながら、新年の干支である龍を入れたかわいい羽子板を完成させる様子が見られ、開催して良かったと感じた。



きつずあと

I. おさかなすいぞくかん 8/6

海の生き物をテーマとして、クレパス、色鉛筆を使い自由に描いたり、塗り絵に彩色したりして作品を作る活動に取り組んだ。今年度は秋田県立横手清陵学院中学校・高等学校「メカトロ部」に協力してもらい、描いた作品をパソコンに取り込むことで、プロジェクターで投影したデジタル水槽の中を作品が泳ぎまわる様子を楽しむ活動を取り入れた。作品が投影されると参加者からは大歓声が上がり、次々と作品を仕上げる様子が見られた。参加者にとっては活動への意欲や想像力、好奇心を刺激することができ、「メカトロ部」の生徒たちにとっても普段関わることのない年少児との交流や近代美術館での活動は、地域と関わる経験の一つとして、地域への帰属意識や自己肯定感をたかめる機会となった。



II. スタンプぺったんアート 9/3

未就学児を対象として、スチレンボードと道具を使ってスタンプを作る教室を実施し、その体験を通じて創作の楽しさを知り、道具の正しい使い方や手順についても理解を深めることを目的とした。

内容は、A6サイズのスチレンボードに道具を使って自由に模様を描いてスタンプを作成し、カラーインクをつけて画用紙に押印して作品を制作するという活動である。インクを使い分けて色違いの作品を制作したり、数種類のスタンプを作成するなど、色の選択や様々な模様を描くことで、色彩感覚や発想力、想像力を育む機会を提供できたとなったと思う。



● ミュージアムコンサート

I. 「前田英樹 ピアノコンサート」

日 時 2023年8月20日(日)
1回目… 11時00分～ 11時40分
2回目… 13時30分～ 14時10分
場 所 秋田県立近代美術館5階中央ホール
出 演 前田 英樹
観覧者数 187人



プログラム

- | | |
|-----------|--------------------------------|
| ① J.S バッハ | 平均律クラヴィーア曲集第1 巻より第4 番 BWV. 849 |
| ② モーツァルト | ソナタ第16 番 K. 545 第1 楽章 |
| ③ ベートーヴェン | ソナタ第7 番 Op. 10 - 3 第2 楽章 |
| ④ シューベルト | 即興曲第3 番 D. 899-3 |
| ⑤ ショパン | ノクターン第17 番 Op. 62-1 |
| ⑥ シューマン | アラベスク Op. 18 |
| ⑦ ドビュッシー | ベルガマスク組曲より第3 番「月の光」 |

● 美術館講座・美術講演

美術の鑑賞と理解を深めるため、当館特任館長が美術講座を8回実施した。
詳細は次のとおりである。

◇美術館講座「特任館長講座」

《江戸時代の美術と文化Ⅱ ー多彩な個性の開花ー》

江戸時代の文化は、かつて元禄文化（元禄は1688～1704年）と化政文化（文化・文政は1804～1830年）の二つを頂点として語られてきた。しかしながら、美術について言うなら、その二つに挟まれた18世紀（1700年代）にこそ、江戸時代らしい特色あるものが生み出されている。前年に引き続いてその時期の美術を中心に画像入りで解説した。

講師：仲町啓子（秋田県立近代美術特任館長・実践女子大学文学部名誉教授）

会場：秋田県立近代美術館6階研修室

全8回、延べ受講者数208名

秋田県立近代美術館 2023年度
美術館講座のご案内

江戸時代の文化は、かつて元禄文化（元禄は1688～1704年）と化政文化（文化・文政は1804～1830年）の二つを頂点として語られてきた。しかしながら、美術について言うなら、その二つに挟まれた18世紀（1700年代）にこそ、江戸時代らしい特色あるものが生み出されている。前年に引き続いてその時期の美術を中心に画像入りで解説した。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【講座名】 特任館長講座
《江戸時代の美術と文化Ⅱ ー多彩な個性の開花ー》

【講師】 仲町啓子（なかまちあきこ）
秋田県立近代美術館特任館長・実践女子大学文学部名誉教授

【対象】 学生、一般

【場 所】 秋田県立近代美術館 6階研修室

【時 間】 午後1時30分～午後3時

【受講料】 無料

【申し込み】 不要（申込書欄にて受付）

【期 間】

- ① 5月13日（土） 詩情豊かな南画と俳画ー与謝蕪村
- ② 6月10日（土） 長崎からの新たな花鳥画ー沈南蘋とその継承者
- ③ 7月29日（土） 重厚な花鳥画とユーモアー伊藤若冲
- ④ 8月19日（土） 京都画壇の優しさー長沢芦雪ほか 付・皇室の名宝と秋田展より
- ⑤ 9月23日（土） 奇想の絵師ー曾我蕭白ほか
- ⑥ 10月28日（土） 好事家たちの版画ー窪俊満と江戸の摺物 付・歌川国芳展より
- ⑦ 11月25日（土） 折衷派と呼ばれた江戸の南画ー谷文晁・渡辺崋山
- ⑧ 12月 9日（土） 文人趣味と関西の南画ー浦上玉堂・田能村竹田ほか

秋田県立近代美術館 TEL:0182-33-8855 FAX:0182-33-8858 E-mail: akitemma@mac.nac.jp

- ① 5月 13日（土） 詩情豊かな南画と俳画ー与謝蕪村
- ② 6月 10日（土） 長崎からの新たな花鳥画ー沈南蘋とその継承者
- ③ 7月 29日（土） 重厚な花鳥画とユーモアー伊藤若冲
- ④ 8月 19日（土） 京都画壇の優しさー長沢芦雪ほか 付・皇室の名宝と秋田展より
- ⑤ 9月 23日（土） 奇想の絵師ー曾我蕭白ほか
- ⑥ 10月 28日（土） 好事家たちの版画ー窪俊満と江戸の摺物 付・歌川国芳展より
- ⑦ 11月 25日（土） 折衷派と呼ばれた江戸の南画ー谷文晁・渡辺崋山
- ⑧ 12月 9日（土） 文人趣味と関西の南画ー浦上玉堂・田能村竹田ほか

● 出前美術展 能代エナジウムパーク
「アートとあそぼ ～ふれてみる たのしむアート～」

会 期：2023(令和5)年8月26日(土)～9月10日(日)【16日間】

※休館日：8月28日(月)、9月4日(月)

主 催：東北電力(株)能代エナジウムパーク、秋田県立近代美術館

会 場：能代エナジウムパーク カルチャーホール

担 当：北島珠水、鈴木秀一

入場者数：1,870名

能代エナジウムパークを会場に当館の所蔵作品を紹介する「出前美術展」は、今年度が11回目の開催となった。今回は「アートとあそぼ ～ふれてみる たのしむアート～」と題し、木のおもちゃを中心に、ブロンズの彫刻など、触って楽しむ彫刻を多数展示した。木とブロンズの素材の違い、見た目では伝わらない微妙な形や質感の違いなど、体全体でアートを楽しむ展示を1,870名のお客様にお楽しみいただいた。



No	作品名	作家名	制作年	技法・素材	寸法(cm)
1	天空伝説「風韻」	野口 裕史	2004(平16)	銅	H60.0×W160.0×D76.0
2	天空伝説「来訪者」	野口 裕史	2007(平19)	銅・ステンレス	H80.0×W200.0×D130.0
3	ふくろう	松田 芳雄	2008(平20)	ブロンズ	H60.0×W85.0×D50.0
4	よく獲たり	朝倉 文夫	1946(昭21)	ブロンズ	51.6× 64.0× 29.0
5	木のおもちゃ3種				

◇会場風景



● ネットワーク推進事業

『中村征夫写真展「顔面博覧会」』

- 会 期：2023(令和5)年12月14日(木)～2024(令和6)年1月23日(火)【30日間】
 会期中の休館日：毎週水曜日、2023年12月28日(木)～2024年1月3日(水)
 主 催：秋田県立近代美術館、秋田県立図書館
 会 場：秋田県立図書館 2F特別展示室
 概 要：当館所蔵の中村征夫写真パネルから、「顔面」にちなんだ作品を
 セレクトして展示した。
 担 当：鈴木秀一、藤井正輝
 入場者数：4,592人



作品リスト

No	名称(作品名)	技法材質	寸法(cm)	No	名称(作品名)	技法材質	寸法(cm)
1	フタイロカエルウオ	写真パネル	60.0×90.0	29	カクレクマノミ	写真パネル	60.0×90.0
2	ブラックバタフライフィッシュ	写真パネル	90.0×60.0	30	ミナミバンドウイルカ	写真パネル	51.0×61.0
3	スジアラ	写真パネル	60.0×90.0	31	イレズミアマダイ	写真パネル	51.0×61.0
4	アオウミガメ	写真パネル	60.0×90.0	32	ヒトスジギンボ	写真パネル	61.0×51.0
5	アジアコショウダイ	写真パネル	60.0×90.0	33	ヨコスジカジカ	写真パネル	61.0×51.0
6	トラフザメ	写真パネル	60.0×90.0	34	タツノオトシゴ	写真パネル	50.0×66.0
7	オニイトマキエイ	写真パネル	60.0×90.0	35	フリソデエビ	写真パネル	50.0×66.0
8	アヤコショウダイ	写真パネル	60.0×90.0	36	モンハナシャコ	写真パネル	63.0×42.0
9	ローニンアジ	写真パネル	60.0×90.0	37	コブシメ	写真パネル	63.0×42.0
10	ドクウツボ	写真パネル	90.0×60.0	38	ダンゴオコゼ	写真パネル	90.0×60.0
11	メガネモチノウオ	写真パネル	90.0×60.0	39	コブシメ	写真パネル	34.5×34.0
12	モンツキカエルウオ	写真パネル	90.0×60.0	40	スナダコ	写真パネル	34.5×34.0
13	ハナダイギンボ	写真パネル	90.0×60.0	41	スジアラ	写真パネル	34.5×34.0
14	ハリセンボン	写真パネル	34.5×34.0	42	クマドリ	写真パネル	34.5×34.0
15	ハリセンボン	写真パネル	34.5×34.0	43	メガネゴンベ	写真パネル	34.5×34.0
16	シロワニ	写真パネル	34.5×34.0	44	ウミスズメ	写真パネル	34.5×34.0
17	ドクウツボ	写真パネル	34.5×34.0	45	サザナミフグ	写真パネル	34.5×34.0
18	ハナヒゲウツボ	写真パネル	34.5×34.0	46	トラギス	写真パネル	34.5×34.0
19	ヘラヤガラ	写真パネル	34.5×34.0	47	マコガレイ	写真パネル	50.5×61.0
20	ダンゴオコゼ	写真パネル	34.5×34.0	48	ダイナンギンボ	写真パネル	50.5×61.0
21	センネンダイ	写真パネル	34.5×34.0	49	チチブ(ハゼの仲間)	写真パネル	50.5×61.0
22	ハナタツ	写真パネル	34.5×34.0	50	イソガニ	写真パネル	50.5×61.0
23	ズワイガニ	写真パネル	34.5×34.0	51	弱り果てたタイワンガザミ	写真パネル	50.5×61.0
24	エソの仲間	写真パネル	34.5×34.0	52	1週間後の姿	写真パネル	50.5×61.0
25	オキエソ	写真パネル	34.5×34.0	53	2週間後、バクテリアによって分解され海底の一部となって還ってゆく	写真パネル	50.5×61.0
26	メガネウオ	写真パネル	34.5×34.0	54	酸欠で死んだメバル	写真パネル	50.5×61.0
27	ヒメオニオコゼ	写真パネル	34.5×34.0				
28	シロボヤにからまる ウミフクロウの卵塊	写真パネル	90.0×60.0				

● ふれんどりーギャラリー

「草薨裕写真展 無数の一滴」

草薨は秋田県の雪、水、太陽といった自然物を主な被写体に「瞬間と循環」を主題とし、肉眼で捉えきれない一瞬の表情を写真で切り取る試みを続けている。今回の写真展「無数の一滴」では、2020年と2022年に開催された「山形ビエンナーレ」出品作である「ヤマガタダイカイギュウ」の化石標本を撮影した《水の記憶》、秋田市にある雄物川汽水域で撮影された《SEA》《PEBBLES》などのモノクロを中心に、カラーも交えたシリーズを展示した。

また、同時開催として、講師及び教室参加者の希望者による「デジタルネガ」から印画紙にプリントした作品を展示した。

会 期：2023(令和5)年6月20日(火)～7月30日(日) 【44日間】

担 当：木村雅洋、北島珠水



作品リスト

作品名	点数	寸法(cm)
水の記憶	6点	「左下顎第3臼歯」「第3胸椎」337×510mm 「左上腕骨」「右肩甲骨」770×510mm 「右第15肋骨」「頭骸骨」1152×770mm
PEBBLES_01	1点	795×1195mm
PEBBLES_08～13	6点	686×1030mm
SNOW	1点	795×1195mm
SEA	5点	267×400mm・4点、400×267mm・1点

「大関智子 Visitor」

美術館教室「日本画教室—好きな果物を描こう—」の講師・大関智子氏の作品を展示した。

会 期：2023(令和5)年9月2日(土)～10月5日(木) 【34日間】

担 当：保泉充、木村雅洋



「伊藤由美子 版画展」

美術館教室「版画教室」の講師・伊藤由美子氏の作品を展示した。

会 期：2023(令和5)年10月7日(土)～11月12日(日) 【37日間】
担 当：藤井正輝、北島珠水

作品リスト

No	タイトル	サイズ (mm)	技法	制作年
1	portrait	400×300	水性モノタイプ	2023
2	clothes	400×300	水性モノタイプ	2023
3	あおとみどり	400×300	水性モノタイプ	2023
4	女性像	220×180	ドライポイント	2023
5	手	300×300	水性木版、ドライポイント	2023
6	face 7	120×120	水性木版	2023
7	face 8	120×120	水性木版	2023
8	face 9	120×120	水性木版	2023
9	look back	180×225	水性木版	2023

伊藤由美子 版画展

2023年10月7日(土)～11月12日(日) 37日間



令和5年 10月7日(土)～11月12日(日)

午前 9:30～午後 5:00 (最終入館は午後4:30まで)

秋田県立近代美術館(横手市)5階ふれんどりーギャラリー

観覧無料

TEL 0182-33-8855 FAX 0182-33-8858
E-mail akiamms@mac.ne.jp X(旧Twitter) @akiamms
〒013-0064 秋田県横手市赤坂字宮ノ沢62-16 (0182-62-2391) 秋田県立近代美術館 Akita Museum of Modern Art



● 美術館のセカンドスクールの利用

◇ 令和5年度セカンドスクールの利用概況

	セカンドスクールの利用（教育課程内）										総利用校数	総利用人数		
	幼・保育園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校				その他	
	園数	(人数)	校数	(人数)	校数	(人数)	校数	(人数)	校数	(人数)			団体数	(人数)
4月												0	0	
5月					3	435						3	435	
6月	1	21	8	386								9	407	
7月			3	116	1	4	3	6				7	126	
8月					2	5						2	5	
9月			6	251			1	32				7	283	
10月			6	181	1	33						7	214	
11月			9	237	2	56						11	293	
12月			6	172					8	179		14	351	
1月			1	42					1	5		2	47	
2月			3	115	1	46						4	161	
3月											1	27	27	
小計	1園	21人	42校	1,500人	10校	579人	4校	38人	9校	184人	保育園1	27人		
合計	67校 2,349人										67校・団体	2,349人		

※参考

令和4年度	37校・団体	828人
令和3年度	86校・団体	2,673人
令和2年度	52校・団体	1,726人
令和元年度	98校・団体	2,904人

利用学校一覧			
●秋田市 将軍野中学校 県立栗田支援学校	高梨小学校 横堀小学校 太田東小学校 太田南小学校 太田北小学校 県立大曲支援学校 県立大曲農業高等学校	●横手市 認定こども園こひつじ 明照保育園 横手南小学校 旭小学校 横手北小学校 増田小学校 浅舞小学校 醍醐小学校 雄物川小学校 大森小学校 大雄小学校 横手南中学校 横手北中学校	横手明峰中学校 県立横手支援学校 ●湯沢市 湯沢東小学校 山田小学校 雄勝小学校 県立稲川支援学校 ●雄勝郡 三輪小学校 羽後明成小学校 高瀬小学校 東成瀬小学校
●部活動 ●市町村事業 ●短大等	横手特別支援学校高等部文化部、秋田市立飯島中学校美術部 横手市夏休み子ども教室（増田子ども教室） 横手市冬休み子ども教室（横手南子ども教室） 聖園学園短期大学、由利本荘医師会立由利本荘看護看護学校		

◇ 利用の位置付け（教科等）

・図画工作科、美術科、生活科、社会科、芸術等の各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動

◇ 内容

■セカンドスクールの対応について

・感染予防の観点から受け入れを見合わせていた「制作体験」の申込み受付を今年度6月から再開した。

◇ キンピ・アートカード 貸出数

・湯沢市立湯沢北中学校10セット

● 博物館実習

博物館法に基づき、学芸員の資格取得を目指す学生を受け入れる博物館実習を行った。新型コロナウイルス感染症は令和5年5月から「5類感染症」への移行となったが、感染拡大防止の観点から、引き続きマスクの着用、手洗い等の予防対策を十分に講じての実施となった。

○実習生の所属大学と人数：八洲学園大学1名、東北文化生活大学1名、盛岡大学1名、筑波大学1名
秋田公立美術大学2名

2023(令和5)年度博物館実習計画

月日	時 間	実 習 内 容	場 所
8 月 30 日	10:00～10:30	オリエンテーション (実習のねらい、日程説明)	図書室
	10:30～11:00	秋田県立近代美術館の概要	図書室
	11:00～12:00	施設・設備の見学	館内
	12:00～13:00	昼休み	
	13:00～14:00	AMC・みんなのキンピ事業説明	図書室
	14:00～16:00	ギャラリートーク準備① (作家・作品調査)	展示室・図書室
	16:00～17:00	実習記録まとめ	図書室
8 月 31 日	10:00～12:00	作品の収集・保存と保存環境について	図書室
	12:00～13:00	昼休み	
	13:00～14:00	特別展の企画立案について	図書室
	14:00～16:00	作品調書作成実習	収蔵庫
	16:00～17:00	実習記録まとめ	図書室
9 月 1 日	10:00～12:00	写真作品額装実習	収蔵庫
	12:00～13:00	昼休み	
	13:00～14:00	ギャラリートーク準備② (作家・作品調査)	図書室
	14:00～15:00	セカンドスクールの利用の補助	展示室
	15:00～16:00	ギャラリートーク準備③ (作家・作品調査)	図書室
	16:00～17:00	実習記録まとめ	図書室
9 月 2 日	10:00～10:30	きつずあーと「スタンプぺったんアート」準備	実習室
	10:30～12:00	広報活動【SNSを活用した美術館PR等】	図書室
	12:00～13:00	昼休み	
	13:00～14:00	セカンドスクールの利用について	図書室
	14:00～15:00	コレクション展ギャラリートーク 参加、見学	展示室
	15:00～16:00	受付・監視業務補助① (カウンター受付、展示室内監視等)	館内
16:00～17:00	実習記録まとめ	図書室	
9 月 3 日	10:00～12:00	きつずあーと「スタンプぺったんアート」補助	6階研修室・風の回廊
	12:00～13:00	昼休み	
	13:00～14:00	きつずあーと「スタンプぺったんアート」撤収	6階研修室
	14:00～16:00	受付・監視業務補助② (カウンター受付、展示室内監視等)	
	16:00～17:00	実習記録まとめ	図書室
9 月 4 日	10:00～11:00	ギャラリートーク実演	展示室
	11:00～12:00	特別展撤収作業、見学	展示室
	12:00～13:00	昼休み	
	13:00～15:00	施設・設備の問題点の洗い出し	館内(ふるさと村含む)
	15:00～17:00	アンケート記入・実習記録のまとめ	図書室

●中学生職場体験、高校生インターンシップ、中堅教諭等資質向上研修の受け入れ

◇ 中学生職場体験

1 目的

- (1) 職場体験を通して、仕事や職種に関する認識の幅を広げる機会とする。
- (2) 望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身につける一助とする。
- (3) どのような職業においても、学ぶことやコミュニケーションが重要であることを実感し、今の中学校生活を大切にしようとする姿勢を身につける機会とする。

2 主な体験内容

受付・監視業務補助、作品解説体験、彫刻清掃

3 期日と実習生

- (1) 令和5年7月25日(火)～26日(水) 2日間
横手南中学校 2年生(4名)
- (2) 令和5年8月2日(水)～3日(木) 2日間
横手北中学校 2年生(3名)
横手明峰中学校 2年生(2名)

◇ 高校生インターンシップ

1 目的

- (1) 美術館の業務体験を通して職業への関心を高めるとともに、自己の適性の把握と進路意識の高揚を高める機会とする。
- (2) 将来の生き方に関わる職業観・勤労観を形成する一助とする。

2 主な実習内容

教育普及事業準備・活動、広報業務、受付・監視業務、講義受講等

3 期日と実習生

- (1) 令和5年7月12日(水)～7月13日(日) 2日間
秋田県立増田高等学校 2年生(4名)
秋田県立横手城南高等学校 3年生(1名)
- (2) 令和5年7月29日(土)～7月30日(日) 2日間
秋田県立横手高等学校(定時制課程)(1名)

◇ 中堅教諭等資質向上研修

- ・ 令和5年度は実施なし

● 美術館ボランティア AMC (アムック: Akita Museum Cooperator)

秋田県立近代美術館におけるボランティア活動は、生涯学習振興の考えに基づいて導入された。美術館でのボランティア活動を通して、会員が美術に対する愛好心と知識を深めるとともに、県民と美術館の架け橋として主体的に活動することを目指している。

活動は、1ヶ月に1日(又は半日を2回)程度の活動日を各個人が定め、1年間継続することを原則としている。活動内容は、展示室活動、案内活動、事務補助活動、配布活動、野外彫刻清掃活動、イベント活動、自己研修などの他、会員への毎月の会報作成や、交流会、他美術館等における研修なども行っている。新会員については、事前に館職員とAMC役員によるオリエンテーションを行うなどして活動をサポートしている。



1 会員数 56名 (2024年3月31日現在)

2 活動内容

① 展示室活動・案内活動

- i 館内案内、誘導 (館内各施設、順路ほか)・身体障害者、高齢者、子供対応・団体の整理、誘導
- ii 美術館での鑑賞マナーの普及活動
- iii 資料配付 (リーフレット、作品解説チラシほか)
- iv 質問対応 (展示資料、美術館の概要、観光、道路、交通機関など)

② 事務補助活動

- i 印刷物発送準備作業 (ポスター、チラシ、美術館ニュースほか)

③ 自己研修

- i ハイビジョン鑑賞 (番組、データベース)
- ii 館蔵作品の調査研究等 (図書資料室)
- iii 鑑賞学習会 (ギャラリートーク、ワークショップ等への参加)

④ その他の活動

- i ふるさと村内でのPR活動 (展覧会・付帯事業)
- ii ミュージアムコンサート等の手伝い
- iii 講演会準備の手伝い
- iv 野外彫刻の清掃
- v 印刷物 (AMC通信など) の作成・発行

◆ おもな関連行事

- ① 役員会 (13回)
- ② 講演会・美術館講座・コンサートへの参加
- ③ 交流会
(6月10日 / 「小川忠博写真展」にちなんだワークショップ)
- ④ 研修旅行
(11月5日 / 山形県: 土門拳美術館・本間美術館 参加者: 14名)
- ⑤ 新会員オリエンテーション (随時)
- ⑥ 総会 (2024年3月10日)



研修旅行

収集事業

収集方針

- ①秋田蘭画・初期洋風画作品や資料
- ②近代以降の本県出身及びゆかりの作家の作品や資料
- ③日本の美術思潮を学ぶことのできる作品や資料
- ④当館の収集作品としてふさわしい内外の作品や資料

● 美術品収集

美術品等収集状況(令和5年度末まで)

種別	県美術品取得基金	優秀美術作品収集事業	寄贈	他施設から所管換	合計
秋田蘭画	6	0	1	5	12
東洋画	0	0	1	1	2
日本画	224	31	259	184	698
洋画	51	147	218	79	495
版画	11	60	286	67	424
水彩画	0	1	11	0	12
彫刻	121	12	78	6	217
工芸	29	0	17	1	47
デザイン	0	0	16	6	22
書	13	7	242	2	264
写真	3	0	230	0	233
素描・下絵等	20	0	216	11	247
国内その他資料	5	0	138	5	149
外国版画	0	0	0	2	2
外国彫刻	7	0	2	1	10
外国映像資料等	1	0	2	0	3
合計	491	258	1,717	370	2,836

2023(令和5)年度収集

種別	県美術品取得基金	優秀美術作品収集事業	寄贈	他施設から所管換	合計
日本画			1		1
洋画			2		2
彫刻			1		1
工芸			6		6
素描・下絵等			2		2
国内その他資料			1		1
外国彫刻					
合計			13		13

購入による収集

2023(令和5)年度はなし

寄贈による収集

No	種別	作者名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(縦×横cm)
1	洋画	大原 省三	人々	1954(昭和29)	油彩、キャンバス 額装	128.0×64.0
2	洋画	伊勢 正義	妻の肖像画(仮称)	—	油彩、キャンバス 額装	93.0×75.0
3	日本画	加瀬谷 東嶺	鳥図屏風	—	紙本墨画淡彩 6曲1隻	161.4×370.6
4	素描	寺崎 廣業	下絵《大仏開眼》	1907(明治40)	墨・白の絵の具、和紙 額	46.8×46.8
5	書	小野 湖山	扁額《騰龍軒》	1901(明治34)頃	墨、和紙 額	27.0×110.0
6	書	日置 黙仙	廣業を励ます言葉	1919(大正8)	墨、和紙 6曲1双	112.0×46.0
7	彫刻	雨宮 透	イカット	1998(平成10)	ブロンズ、铸造	34.0×15.0×26.0
8	工芸	沓澤 則雄	悠悠縄文	2004(平成16)	研出蒔絵、プラチナ箔 2曲1隻	160.0×140.0
9	工芸	沓澤 則雄	縄文の証	2011(平成23)	研出蒔絵、白蝶貝、プラチナ・金箔・赤い糸玉	104.0×137.0
10	工芸	沓澤 則雄	湿原爽風	2013(平成25)	研出蒔絵、沈金、錫粉・金箔 2曲1隻	60.0×140.0
11	工芸	沓澤 則雄	「花芯の譜」漆盤	2014(平成26)	蒔絵、栃・朴・白蝶貝	高6.0×径48.0
12	工芸	沓澤 則雄	地の記憶	2018(平成30)	研出蒔絵、金箔・金粉・錫粉・白蝶貝・赤い糸玉	145.5×89.4
13	工芸	沓澤 則雄	縄文・祈りの地	2023(令和5)	蒔絵、白蝶貝・金箔・アルミ板	116.7×91.0

● 図書資料

分類	令和5年度新収図書	分類別合計	
一般図書	美術総記	11	1,947
	日本美術	22	2,999
	西洋美術	0	696
	東洋、その他の美術	0	154
	秋田資料	7	679
	関係諸学	2	989
所蔵品図録、研究報告、年報	242	6,633	
展覧会図録	253	9,901	
美術雑誌他	69	7,667	
計	606	31,665	

美術品の貸出

No	貸出先	展覧会名	貸出期間	作品名
1	平野政吉美術財団	常設展示	2019/05/16- 長期貸出	藤田嗣治「裸婦立像」など24点
2	副知事室		2023/5/1 -2024/4/30	中村征夫「怒るときはすなわち理を思い危うきときにも義を忘れず」など12点（年4回入替）
3	九州国立博物館	文化交流展特集展示 「誕生250年記念 秋田蘭画ことはじめーそれは解体新書から始まったー」	2023/4/18 -2023/6/27	小田野直武「不忍池図」「唐太宗花鳥図」2点
4	茨城県近代美術館	「農と美術」	2023/6/13 -2023/9/21	福田豊四郎「山菜売る人達」他4点
5	武蔵野美術大学美術館	「三浦明範 ーvanitas vanitatum展」	2023/7/5 -2023/8/23	三浦明範「斜線の風景」他3点
6	新制作絵画部	第86回新制作展絵画部企画 「時代を担ってきた作家2023」	2023/8/31 -2023/10/2	伊勢正義「異邦人」1点
7	平福記念美術館	「小野崎大凌展」	2023/8/20 -2023/10/5	小野崎大凌「春秋遊鹿花鳥図」他6点
8	本の森厚岸情報館	第42回全国豊かな海作り大会開催記念事業 水中写真家中村征夫写真展 「知床ー極寒に生きるー」	2023/8/21 -2023/10/2	中村征夫「流氷誕生」（知床シリーズ）他32点
9	秋田県立博物館	秋田の先覚記念室企画コーナー展「勝平得之ー得之・秋田への想いー」	2023/8/22 -2023/11/30	勝平得之「かまくら」他21点

美術品保存

● 美術品保存・修復

令和5年度はなし

● 重要文化財等指定

国指定重要文化財

No.	指定年月日	名称	備考
1619	昭和43. 4. 25	絹本著色不忍池図（小田野直武筆）1面	
1971	平成11. 6. 7	絹本著色唐太宗花鳥図（小田野直武筆）3幅	

秋田県指定有形文化財

No.	指定年月日	名称	備考
絵9	昭和32. 4. 4	絹本著色芍薬花籠図（小田野直武筆）1幅	
絵17	昭和53. 2. 14	小田野直武筆写生帖 1冊	
絵19	昭和57. 1. 12	鶴之図（沈南蘋筆）2幅対	
絵21	平成16. 3. 19	紙本着色ファン・ロイエン筆 花鳥図模写 1幅	
絵22	平成17. 3. 22	平福穂庵筆 乳虎 1幅	
絵23	平成20. 3. 21	寺崎廣業筆 高山清秋 6曲1双	
絵24	平成20. 3. 21	平福百穂筆 春山 1幅	
絵25	平成23. 3. 22	小田野直武筆 富嶽図 1幅	
歴21	平成28. 3. 25	白雲筆 奥州街道並羽州街道風景図 1帙2帖	
絵33	令和 4. 3. 29	平福穂庵筆 緑蔭清談 1幅	
絵34	令和 6. 3. 22	寺崎廣業筆 瀟湘八景 8幅	

燻蒸

実施期日：2024(令和6)年1月18日(木)～1月23日(火) 【6日間】

燻蒸場所：3階収蔵庫（3室） 総容積 2,091.0m³

実施業者：関東港業株式会社

※ 燻蒸容積：2階収蔵庫（2室）	1,281.8m ³
3階収蔵庫（3室）	2,091.0m ³
5階展示室（4室）	4,596.0m ³
6階展示室（3室）	2,890.8m ³
地下1階一時保管庫	217.1m ³

収蔵庫及び一時保管庫に保管している美術品及び関係資料をカビ・害虫から守るため、令和5年度は燻蒸を関東港業株式会社に委託し、上記6日間にわたり実施した。酸化プロピレン（C₃H₆O）とを気化器によりガス化投薬し、内部濃度を基準有効濃度48g/m³の基準として48時間密閉燻蒸を行った。ガス濃度測定は、ガスが均一化するまでは1時間毎に、ガスが均一化した後は2時間毎に行った。燻蒸期間中は、安全確保の措置を取る。ガス解放は強制ファン等を使用し、速やかに行った。供試虫、供試菌による燻蒸効果判定は(財)文化財虫菌害研究所で行い、2月に良好と認め、合格と判定した。

調査・研究業績

仲町啓子

- 講座 美術館講座「特任館長講座」《江戸時代の美術と文化Ⅱ－多彩な個性の開花》(全8回)
※5/13(土)、6/10(土)、7/29(土)、8/19(土)、9/23(土)、10/28(土)、11/25(土)、12/9(土)

木村雅洋

- 作品解説 秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」248 アキタの書・その魅力展 2/7
実技講座 みんなの教室「カラーインクをつかってみよう!!」 5/14
実技講座 みんなの教室「つくろう!ぶんぼうアニマルズ3」 7/30
講座 総合教育センター講座「C-17 育成する資質・能力から考える図画工作科の授業」
(秋田県総合教育センター) 6/22
講座 86回新制作展アートレクチャー「新制作協会創立会員の伊勢正義氏について」
(国立新美術館) 9/24
講座 日仏教育学会2023年度研究大会 公開シンポジウム「日仏の芸術教育－教員養成・学校・地域社会をつなぐ実践と課題－」(秋田大学教育学部) 10/21

鈴木秀一

- 作品解説 秋田さきがけコミュニティーマガジン『郷』夏号「桜庭藤二郎《遅春》」
作品解説 秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」206 高橋英孝「北国に咲く」、佐々木素雲「伝 普賢菩薩」 4/12
実技講座 きっずあーと「スタンプぺったんアート」 9/3

藤井正輝

- 作品解説 『教育美術』7月号 巻頭連載「教美アートギャラリー」第12回 秋田県立近代美術館 7/1
作品解説 秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」221 「キンビ・版画セレクション」 7/26
作品解説 秋田さきがけコミュニティーマガジン『郷』夏号「生命共同体の循環を表現」Vol. 154
講座 あきた県庁出前講座 No.184 講座名 キンビアートカードを使った鑑賞活動(北秋田市民ふれあいプラザ) 9/23
実技講座 みんなの教室「羽子板に描こう!!」 12/3

北島珠水

- 実技講座 きっずあーと「おさかなすいぞくかん」 8/5
事業 みんなのキンビプロジェクト(令和5年度文化庁 Innovate MUSEUM 事業) 通年

秋田達也

- 作品解説 秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」 特別展「浮世絵師 歌川国芳展」 9/6
作品解説 秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」 コレクション展「雪月花のとき」 1/10
作品解説 秋田さきがけコミュニティーマガジン『郷』冬号「高橋萬年《雪松図》」vol. 156
委員 国際浮世絵学会 理事・編集委員

鈴木 京

- 作品解説 秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」208 多様で奥深い芸術性 4/26
作品解説 秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」234 福田豊四郎のカラス 心に刻んだ鮮烈な飛翔 10/25
作品解説 秋田さきがけコミュニティーマガジン『郷』秋号「小田野直武《雷魚図》」vol. 151
作品解説 秋田さきがけコミュニティーマガジン『郷』春号「福田豊四郎《雪を描く男》」vol. 157
研究報告 『秋田美術』vol. 59「開催報告：秋田蘭画の世界展－『解体新書』から《不忍池図》へ－」

保泉 充

- パンフレット 特別展「皇室の名宝と秋田 三の丸尚蔵館収蔵品展」 7月
作品解説 秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」皇室の名宝と秋田 三の丸尚蔵館収蔵品展 7/5

◆2022年度 秋田県立近代美術館年報 2023年6月発行 PDF配布のみ

◆秋田県立近代美術館ニュース『ARK』No. 86 2023年9月30日発行 A3判三折

【目次】

- ・[報告] 特別展「縄文 小川忠博写真展」
- ・[報告] 特別展「皇室の名宝と秋田～三の丸尚蔵館収蔵品展」
- ・[開催中] 特別展「奇想天外×大胆不敵 歌川国芳展」
- ・[報告] コレクション展第Ⅰ期「樹を描く 木で創る」
- ・[開催中] コレクション展第Ⅱ期「キンビ・版画セレクション」
- ・[報告] ふれんどりーギャラリー展示報告「草薨裕写真展 無数の一滴」
- ・[報告] 出前美術館 in 能代エナジウムパーク
「アートとあそぼ～ふれてみる たのしむアート～」
- ・[報告] 上半期実施教室・講座一覧
- ・[報告] 前田英樹ピアノコンサート
- ・[予告] 2023年度下半期実施予定事業一覧

◆秋田県立近代美術館ニュース『ARK』No. 87 2023年3月30日発行 A3判三折

【目次】

- ・[報告] 特別展「奇想天外×大胆不敵 歌川国芳展」
- ・[報告] 特別展「みんなのキンビ」プロジェクト第1弾
からだじゅうであじわう 大根ビネーション展
- ・[開催中] 企画展「アキタの書・その魅力」
- ・[報告] コレクション展第Ⅲ期「遊び戯る美」
- ・[開催中] コレクション展第Ⅳ期「雪月花のとき」
- ・[報告] ふれんどりーギャラリー「大関智子 Visitor」
- ・[報告] ネットワーク事業 2023「中村征夫写真展 顔面博覧会」
- ・[報告] 下半期実施教室・講座一覧
- ・[報告] 2023年度セカンドスクール利用校一覧
- ・[予告] 2024年度上半期実施予定事業一覧

※ 秋田県立近代美術館ニュース『ARK(アーク)』

秋田県立近代美術館では、展覧会の概要やさまざまな美術館活動などの広報を目的とし、美術館ニュース「ARK」を年2回発行している。(平成20年度よりデザインを親しみやすいものに改変した)「ARK」とは、ラテン語で「箱」を意味する言葉で、『聖書』では、ノアが大洪水から逃れた箱船のことをさす。当館の外観が“空中に浮遊する巨大な箱船”に見えることから命名された。

◆2024年度行事案内リーフレット(年間スケジュール) 2024年3月発行 A4 2頁

入館状況

令和5年度 月別入館者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入館者数(人)	2,042	3,077	2,405	3,443	7,053	6,201	4,833	4,537	4,683	4,533	3,307	3,065	49,179

利用者数一覧表

事業別 区分	入館者	特別展入場者					企画展入場者			その他 ※(2)	
		縄文 小川忠博 写真展	皇室の名宝と 秋田	浮世絵師 歌川国芳展	からだじゅう で あじわう 大根ビネーシ ョン展	計	横山津恵 デッサン展 ※(3)	アキタの書・ その魅力 ※(4)	計	計	
開催期間	4/1(金) ～3/31(金)	4/22(土) ～6/30(日)	7/8(土) ～9/3(日)	9/9(土) ～11/5(日)	11/11(土) ～1/28(日)		2023/4/1(金) ～4/16(日)	2024/2/3(土) ～3/31(日)			
日数(日)※(1)	350	70	58	58	79	265	17	58	75	10	
利用者数(人)	49,179	3,855	8,400	7,366	2,458	22,079	1,012	6,246	7,258	22,300	
一日平均(人)	141	55	145	127	31		60	108			
有 料	個 人	一般・学生	1,968	6,654	5,325	710	14,657	-	-	0	0
		シルバー	-	-	-	52	52	-	-	0	0
		身障 一般・学生	120	398	304	-	822	-	-	0	0
	団 体	一般・学生	107	124	131	10	372	-	-	0	0
	合計		2,195	7,176	5,760	772	15,903	0	0	0	0

※(1) 日数は、年末休館(令和5年12月29日～令和6年1月2日)及びメンテナンス休館(令和6年1月16日～25日)を除く。
会期期間中に展示替の日数あり(皇室の名宝と秋田～三の丸尚蔵館収蔵品展～2日)

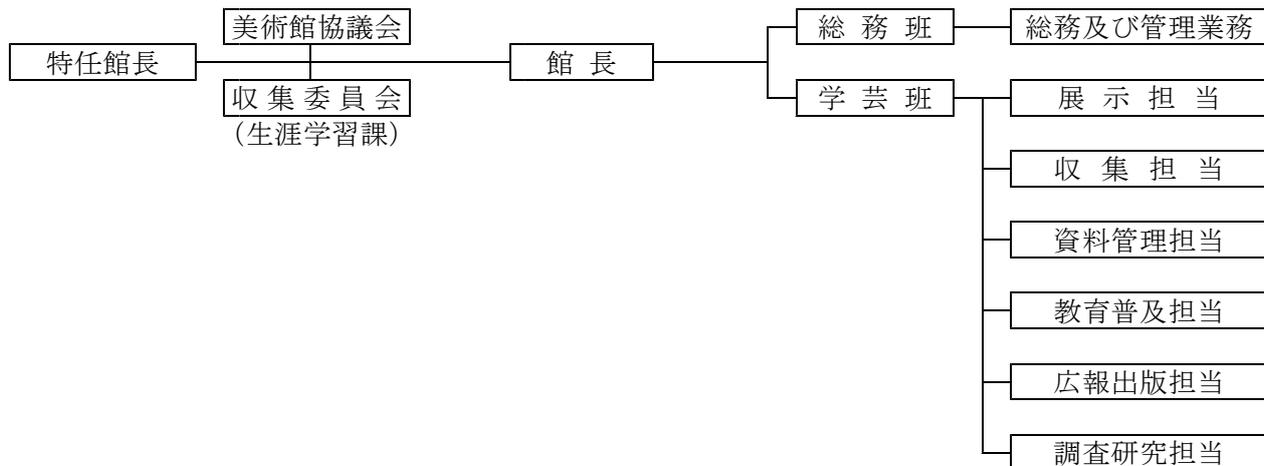
※(2) その他利用者数の内訳は、次のとおり

- ・特別展期間中の入館者：13,893人
- ・ネットワーク事業(県立図書館)：4,592人
- ・出前美術展(能代エナジウムパーク)：1,870人
- ・常設展(5F展示替期間)：1,880人
- ・出前講座等(館外)：65人

※(3) 「横山津恵デッサン展」は、令和5年2月11日～令和5年4月16日まで開催。

※(4) 「企画展 アキタの書・その魅力」は、令和6年2月3日～令和6年4月14日まで開催。

組織図



職員

名誉館長	河野 元昭	美術資料整備	本間 恵里子
特任館長	仲町 啓子	学芸補助	菅原 希
館長	佐藤 哉子	解説員	佐藤 美佳
学芸主事(兼)班長	木村 雅洋		原 彩野
副主幹(兼)班長	佐々木 和志		赤川 和歌子
専門員	石井 和章		佐々木 瑞穂
主任	福田 裕奈		三浦 淑恵
主事	秩父 大輝		小棚 木恵子
副主幹	鈴木 秀一		藤田 園
学芸主事	藤井 正輝		菊地 佳奈
主査(兼)学芸主事	北島 珠水	解説員業務補助	岸 穂乃香
	秋田 達也		柴田 幸恵
	鈴木 京		伊藤 綾子
	保泉 充		
技能主任	伊藤 正信		

美術館協議会委員

会長	横井 朗	横手市教育委員会生涯学習課長
副会長	木村 司	横手市立横手南小学校長
	荒川 康一	秋田魁新報社文化部長
	池田 聖子	色々美術研究所代表
	石井 令人	日本放送協会秋田放送局長
	伊藤 聖子	秋田ふるさと村営業部イベント企画広報課長
	打川 敦	横手市観光推進機構 理事長
	小笠原 豊	小笠原権工房代表
	鎌田 あかね	Little A 代表
	長沢 薫	秋田県書道連盟理事

関係法規

秋田県ふるさと村条例（抜粋）

第1章 総則 （設置）

第1条

秋田県の文化遺産を次代に継承するとともに、郷土の文化を創造する機会を提供し、及び観光レクリエーション活動のための利便の増進を図り、もって県民のゆとりのある文化的な生活の向上に寄与するため、秋田県ふるさと村（以下ふるさと村という）を横手市赤坂字富ヶ沢に設置する。

（業務）

第2条

ふるさと村は、次の表の上欄に掲げる施設の区分に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる業務その他ふるさと村の設置の目的を達成するために必要な業務を行う。

施設	業務
秋田県立近代美術館	県にゆかりある作家の優れた美術作品を中心に収集し、保管し、及び展示し、併せて美術に関する調査研究及び普及活動を行う。

第2章 近代美術館 （近代美術館）

第4条

秋田県立近代美術館（以下「近代美術館」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条に規定する教育機関とする。
（職員）

第5条

近代美術館に事務職員その他の所要の職員を置く。
（近代美術館協議会）

第6条

近代美術館に博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第2項に規定する博物館協議会として、秋田県立近代美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員10人以内で組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。

- 一 学校教育及び社会教育の関係者
- 二 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- 三 学識経験のある者
- 四 近代美術館の利用者

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（入場料等の徴収）

第7条

近代美術館の特別展示室（特別の企画に基づく展示

を行う展示室をいう。以下同じ）に入場する者から、別表第1に定めるところにより、入場料を徴収する。ただし、幼児、小学校児童、中学校及び高等学校の生徒並びに高等専門学校及び大学の学生（これらの者に準ずる者を含む。）については、この限りではない。

2 前項本文の規定にかかわらず、同項本文の入場料と合わせてふるさと村のスノーホワイト城又はかまくらシアターの使用料を同時に納める者の入場料（定期券によるものを除く。）については、別表第1に定める金額の範囲内において知事が別に定める。

3 入場料は、特別展示室への入場の都度徴収する。ただし、定期券による入場にあたっては、これを発行するときに徴収する。

（入場料等の減免）

第8条

知事は、特別の理由があると認めるときは、入場料を減免することができる。

（入場料等の不還付）

第9条

既に徴収した入場料は、還付しない。ただし、知事は、入館者の責めに帰することができない理由により特別展示室に入場することができなくなった場合その他特に必要があると認めるときは、その一部又は全部を還付することができる。

（規則への委任）

第10条

この条例に定めるもののほか、近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附則

この条例は、平成31年10月1日から施行する。

別表第1

特別展示室の入場料（第7条関係）

区分	金額（一人につき）
普通料金	840円。ただし、知事が別に定める展示にあつては、1,500円を超えない範囲内で知事が定める額
団体料金 （20人以上の団体）	750円。ただし、知事が別に定める展示にあつては、1,350円を超えない範囲内で知事が定める額
定期券 （有効期間1年）	2,500円。

教育機関の管理及び運営に関する規則（抜粋）

（趣旨）

第1条

この規則は、学校以外の教育機関の管理及び運営の基本的事項を定めるものとする。

第12条

条例第5条の規定による使用料の減免を受けようとする者は、別に定めるところにより、申請書を知事に提出しなければならない。

第8章の2 近代美術館

（開館時間）

第37条の2

秋田県立近代美術館（以下この章において「近代美術館」という。）の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、近代美術館の長（以下この章において「館長」という。）は、必要があると認めるときは、当該時間を変更することができる。

（休館日）

第37条の3

近代美術館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。

- 1 年始（1月1日及び1月2日）
- 2 年末（12月29日から12月31日まで）

（資料の館外貸出し等）

第37条の4

近代美術館の資料の館外貸出しを受け、又は特別利用しようとする者は、館長の定めるところにより、所要の手続きを経なければならない。

（準用）

第37条の5

第3条第3項及び第4項の規定は近代美術館の休館日の取扱い等について、第6条の規定は近代美術館の利用を拒否し、又は近代美術館からの退去を命ずる場合について、第7条の規定は近代美術館に資料を寄贈する場合等の手続について、第12条の規定は秋田県ふるさと村条例（平成5年秋田県条例第45号）第8条の規定による入場料の減免を受けようとする場合について準用する。

（補則）

第37条の6

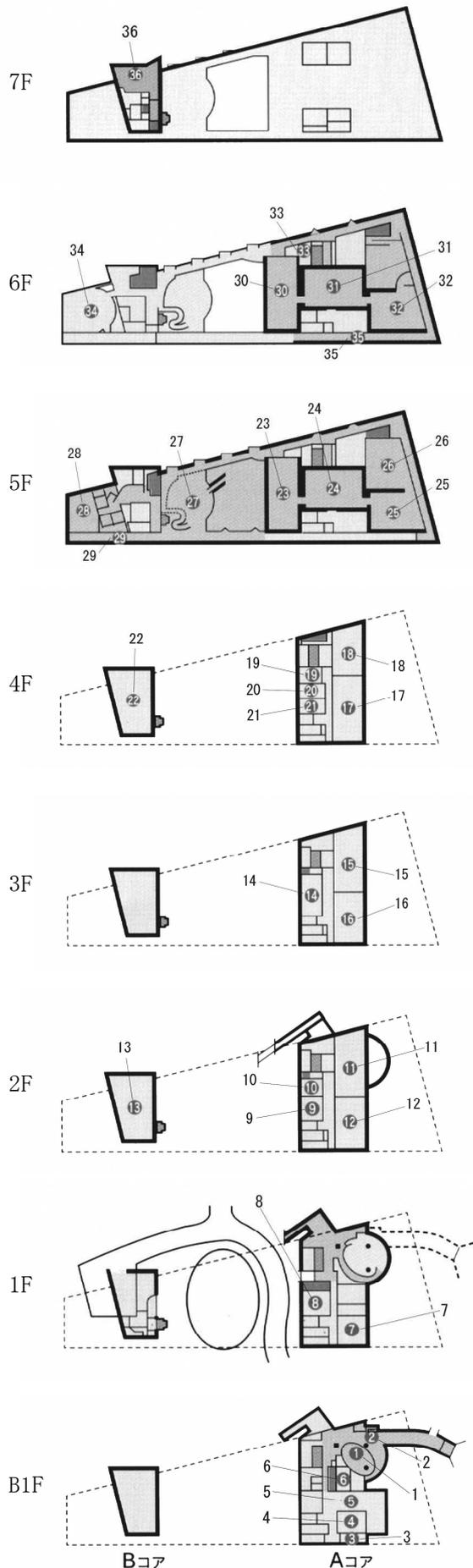
この章に定めるもののほか、近代美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、館長が教育長と協議して別に定める。

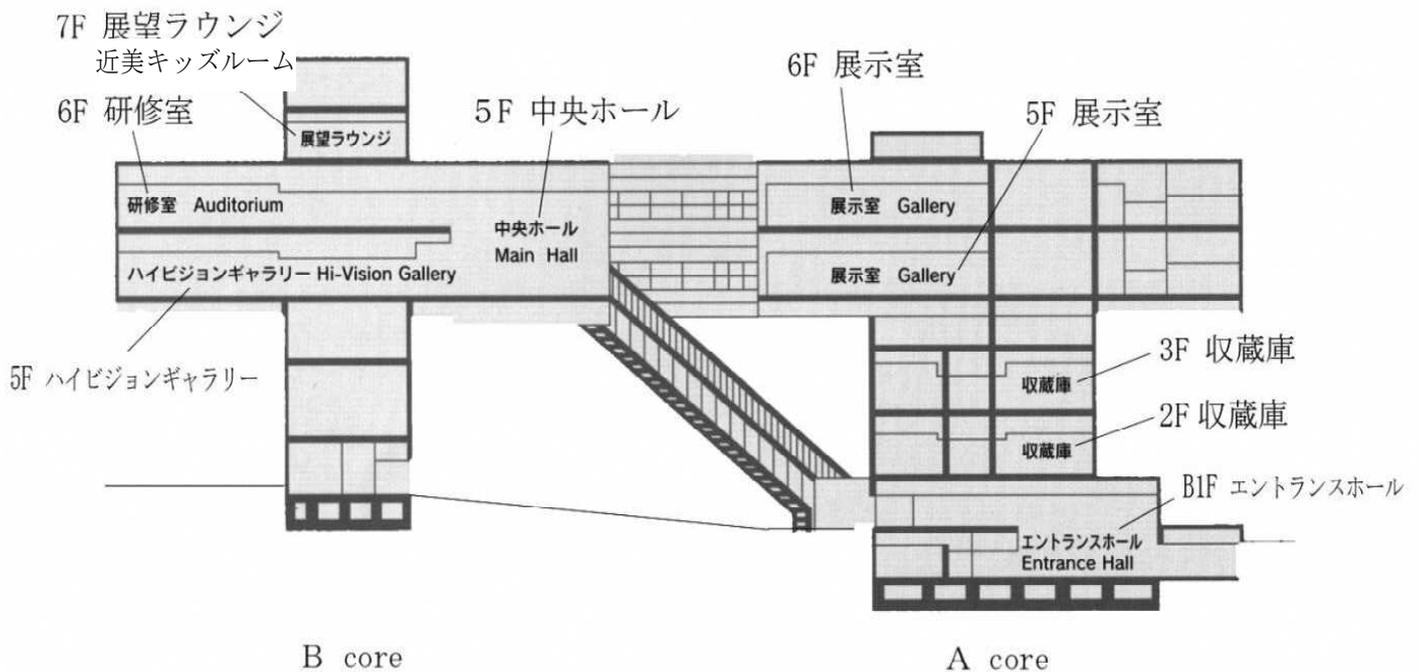
附則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

館内図

7F	36	近美キッズ・ルーム	Kid's Room
6F	35	スロープギャラリー	Slope Gallery
	34	研修室	Auditorium
	33	授乳室	Baby Room
	32	展示室(3)	Exhibition Gallery3
	31	展示室(2)	Exhibition Gallery2
	30	展示室(1)	Exhibition Gallery1
5F	29	ふれんどりーギャラリー	Friendly Gallery
	28	ハイビジョンギャラリー	Hi-Vision Gallery
	27	中央ホール	Main Hall
	26	展示室(4)	Exhibition Gallery4
	25	展示室(3)	Exhibition Gallery3
	24	展示室(2)	Exhibition Gallery2
	23	展示室(1)	Exhibition Gallery1
4F	22	電気室	Electric Room
	2	調査・研究室	Study Room
1		館長室	Director's Room
	20	応接室	Lounge
	19	図書・資料室	Library
	18	事務室	Museum Office
	17		
3F	16	収蔵庫(5)	Storage Room5
	15	収蔵庫(4)	Storage Room4
	14	収蔵庫(3)	Storage Room3
2F	13	機械室	Machine Room
	12	収蔵庫(2)	Storage Room2
	11	収蔵庫(1)	Storage Room1
	10	暗室	Dark Room
	9	写真室	Photo Studio
1F	8	会議室	Conference Room
	7	実習室	Atelier
B1F	6	燻蒸室	Fumigation Room
	5	荷解室	Packing Room
	4	一時保管庫	Temporary Storage Room
	3	管理室	Guard Room
	2	インフォメーション	Information
	1	エントランスホール	Entrance Hall





- 1 **エントランスホール** 彫刻が並ぶアプローチギャラリーを抜けると大理石の壁に囲まれたエントランスホールが広がります。
- 2 **エスカレーター** 外の景色をながめながら、1階から5階へと皆様をお連れします。
- 3 **中央ホール** 自然光一杯のアトリウムは展示スペースへの入り口です。正面にハイビジョンギャラリー、右へ進むと展示室へと続きます。
- 4 **ハイビジョンギャラリー** 美術館の所蔵品や国内外の名作を高精細度の画像で提供するスペースです。
- 5 **展示室** 5階4部屋の企画展示室では、美術館独自の企画、他美術館・諸団体との共催により、広く内外の美術を特色あるテーマでご紹介します。また6階3部屋のコレクション展示室では、年4～6回の展示替えを行いながら、美術館の所蔵品を常時公開しています。
- 6 **実習室** 専門的な技法講座や基礎的な美術講座など、幅広い実技講座を行います。
- 7 **研修室** 充実したAV機器を完備し、展覧会に合わせた講演会の開催や美術史講座など、多目的に活用できるスペースです。
- 8 **收藏庫** 5室からなる收藏庫は、温湿度管理によって多くの作品保存・管理に対応できる機能をもっています。
- 9 **野外展示スペース** 自然の起伏を利用した緑の中の展示空間です。見るだけでなく、直に触れることで、より身近に作品を鑑賞していただけます。

建築・設備概要

建築概要

建設地	秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46
敷地面積	156,100.39㎡(秋田ふるさと村)
建築面積	2,947.32㎡
延床面積	11,166.50㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 地下1階 地上7階 PH1階
設計	株式会社 山下設計東北支社
監理	秋田県土木部営繕課・山下設計東北支社

施工

建築工事	大成・フジタ・三井・伊藤建設工事企業体
空調	ダイダン・山二建設工事共同企業体
電気	東光電気・伊藤電気建設工事共同企業体
給排水衛生	岡田水道施設工事(株)
受変電	羽後・伊藤電気建設工事共同企業体
弱電	千代田電気工業(株)
昇降機	三菱電機(株)

設備概要

電気設備

受変電設備	受電電圧3f 3W 6.6KV 50Hz 設備容量1,500KW
非常用発電設備	ディーゼル発電機(A重油)300KVA200V
蓄電池設備	非常照明・電源設備制御兼用 250Ah×1台
監視設備	中央監視装置：機能分散型DDC方式による 集中監視制御
照明設備	蛍光管主体 展示室照明：高演色性蛍光管(調光及び集中点滅 制御方式) 外壁照明：無電極ランプ(パターン照明方式)
視聴装置設備	拡声放送・電気時計・身障者トイレ呼出表示・ TV共聴研修室AV装置・ハイビジョンギャラ リー4系統(80インチ液晶モニター1台・60インチ 液晶モニター3台)ハイビジョンデータベース システム1系統(32インチ液晶モニター1台)
防犯設備	防犯センサー・ITV装置
防災設備	自動火災装置・防排煙設備

空調設備

熱源設備	吸収式冷温水発生機2000RT×2台 LPG 焚真空式温水ボイラー80,000Kcal/H×1台
空調設備	ユニット型空調機(還風機組込型)×4台 ユニット型空調機(全熱交換機組込一体型)×5台 ファンコイルユニット天井カセット型×105台 水冷式パッケージ型空調機×6台 空冷式ヒートポンプ型パッケージ×3台
換気設備	第1種及び第3種換気方式
排煙設備	機械排煙及び自然排煙
自動制御設備	機能分散型
燻蒸設備	常圧手動式ユニット型20㎡

給排水衛生設備

給水設備	上水引込口径75mm 重力給水方式 受水槽24m ³ 高置水槽6m ³
給湯設備	局所式(電気貯湯式)：各階湯沸室・宿直室ガス
排水設備	建物内：汚水・雑排水・雨水の各分流式 建物外：生活排水はふるさと村施設全体の浄化 槽へ導入
ガス設備	ふるさと村施設全体の集中LPG装置より供給 主に空調用熱源のエネルギー源として利用
消火設備	炭酸ガス消火・屋内消火栓

エレベーター設備

乗用エレベーター	1150kg	105m/分	2台
乗用エレベーター	1150kg	90m/分	1台
荷物用エレベーター	3000kg	45m/分	1台
小荷物用エレベーター	300kg	30m/分	1台

エスカレーター

展望エスカレーター	9000人/時	30m/分	1台
-----------	---------	-------	----

主な設備

5階展示室(4室計) 983.10㎡	収蔵庫(5室計) 852.9㎡
(1室) 260.28㎡	会議室 69.4㎡
(2室) 293.76㎡	実習室・準備室 135.0㎡
(3室) 237.13㎡	図書資料室 160.5㎡
(4室) 191.93㎡	調査研究室 45.5㎡
6階展示室(3室計) 786.85㎡	ハイビジョンギャラリー 241.9㎡
(1室) 255.96㎡	研修室 226.7㎡
(2室) 293.76㎡	キッズ・ルーム 128.9㎡
(3室) 237.13㎡	

利用案内

◆開館時間

午前9時30分～午後5時00分
(入館は午後4時30分まで)

◆休館日 (2023年度)

2023年12月29日～2024年1月2日(年末休館)
2024年1月16日～1月25日(メンテナンス休館)

◆料金

	一般	高・大学生	小・中学生	未就学児	障害者
特別展 縄文 小川忠博展 団体(20名～)・前売り	1,000円 800円	800円 600円	無料	無料	半額
特別展 皇室の名宝と秋田 団体(20名～)・前売り	1,200円 1,000円	1,000円 800円	無料	無料	半額
特別展 浮世絵師歌川芳展 団体(20名～)・前売り	1,200円 1,000円	1,000円 800円	無料	無料	半額
特別展 大根ビネーション展 団体(20名～)	500円 450円	無料	無料	無料	無料
企画展・コレクション展	無料	無料	無料	無料	無料

教育課程に基づく学習活動として利用する幼児・児童・生徒・学生及び引率者の入館料は免除されます。あらかじめ「観覧料免除申請書」を提出し、その承認を受けて下さい。

General Information

◆Museum hours

9:30 a.m.～5:00 p.m. (Last Admission 4:30 p.m.)

◆Closed (Fiscal year 2023)

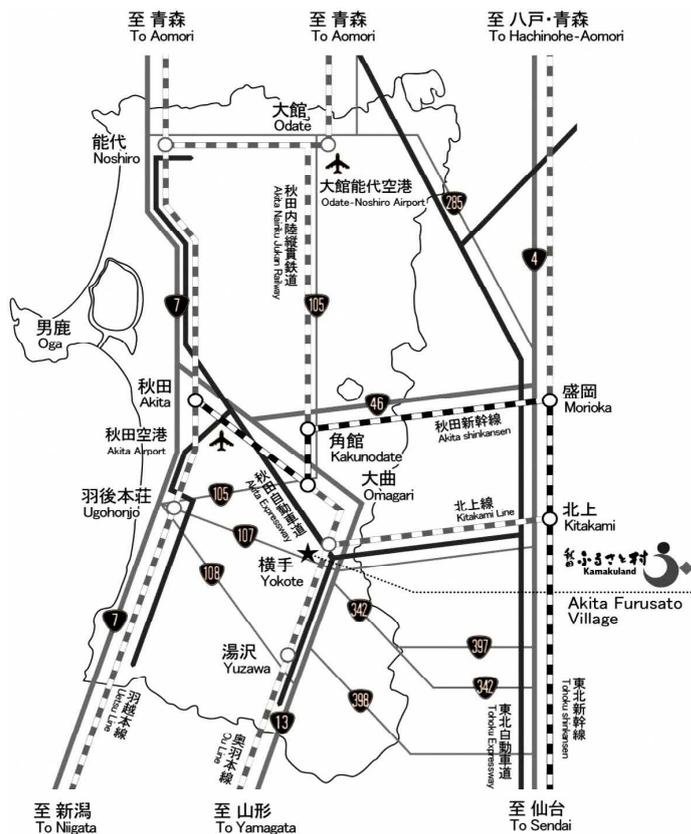
- ・Dec. 29, 2022 - Jan. 2, 2024 Year-end Holidays
- ・Jan. 16 - 25, 2024 Maintenance Week

◆Admission Fee

	adult	senior high school & college student	elementary & junior high school student	pre-school child	handicapped person
Special Exhibition JOMON Ogasata Tadahiro※	¥1,000 ¥800	¥800 ¥600		¥0	¥600
Special Exhibition Treasures of the Imperial Household and Akiha※	¥1,200 ¥1,000	¥1,000 ¥800		¥0	¥650
Special Exhibition UTAGAWA KUNIYOSHI※	¥1,200 ¥1,000	¥1,000 ¥800		¥0	¥600
Special Exhibition DATRONbination※	¥500 ¥450	¥0		¥0	¥0
Permanent Exhibition	¥0	¥0		¥0	¥0

※ Group Discount(20 persons and more)& an advance ticket.

交通案内 Transportation



- ◆(JRとバスで)
JR横手駅東口からバスで、「ふるさと村」下車
- ◆(お車で)
秋田自動車道 横手インターより3分
- ◆(高速バスで)
高速バス 湯沢・秋田線「横手インター入口」下車、徒歩10分
- ◆(By JR train and bus)
Get off at JR Yokote Station. Go out of the East Exit and take the bus for Akita-Furusato Mura.
- ◆(By car)
Get off at Yokote Interchange on the Akita Express Way, then you will get there in 3 minutes.
- ◆(By Express bus, Yuzawa-Akita Line)
Get off at "Yokote Inter Iriguchi", then you will get there in 10 minutes on foot.

秋田県立近代美術館年報 2024年10月発行
編集・発行 秋田県立近代美術館

〒013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46
TEL. 0182-33-8855 FAX. 0182-33-8858
<https://akita-kinbi.jp/>
E-mail:akitamma@rnac.ne.jp